

2 物部川地域

(1) 地域の産業を取り巻く状況

物部川の流域に位置する当地域は、上流域では豊かな森林資源を生かした林業やユズ栽培、肥沃な下流域は県内最大の穀倉地帯であるとともに施設園芸が盛んです。また、高知龍馬空港や高知自動車道、JR土讃線、土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線といった交通インフラが整備され、高知東部自動車道も順次整備が進められており、今後さらなる利便性の向上が期待されます。

農業分野では、平野部では稲作をはじめ、日本一の生産量を誇るニラやシシトウをはじめとした施設園芸が盛んで、山間部でも、ユズや温州ミカンの一大産地が形成されており、全国的なシェアを持つ多種多様な野菜、果樹等が生産されています。また、消費者ニーズに対応した環境保全型農業など特色ある取り組みも行われています。

林業分野では、地域の豊富な森林資源を生かすため、香美森林組合や物部森林組合、管内林業事業体が主体となり、原木の増産に向けて高性能林業機械やICT等を活用した労働生産性の向上、皆伐と再生林の促進による森林の循環利用の促進、森の工場の拡大・間伐の推進による施業集約化に取り組んでいるとともに、林業大学校と連携した担い手の確保に取り組んでいます。

水産業分野でも、高知県漁協手結支所が、地域の主要魚種であるシイラを活用した加工品づくりや、衛生管理の向上、生産体制の強化を進めており、県内外の取引先との定期的な情報交換等を通じて、取引量の安定確保や販路拡大に取り組むことによって、漁業者の所得向上と地域雇用の創出につなげていくこととしています。

工業分野では、充実した交通インフラのもと、早くから工業団地が整備され、各種多数の事業所や工場が集積しており、製造品出荷額は県内の3割近いシェアを占めるなど、特に製造業は県内でもトップクラスの集積地となっています。

商業分野では、小規模事業者が主体である地域の商店街での消費が低迷し、空き店舗が増加していることから、チャレンジショップを展開するとともに、民間事業者と連携しながら、地域が主体となって中心市街地の活性化計画の策定に取り組むなど、地域経済の活性化に向けた取り組みが進められています。

観光分野では、アンパンマンミュージアムやのいち動物公園、西島園芸団地などのファミリー向けスポットから、龍河洞や県立歴史民俗資料館、絵金蔵などの歴史スポットまで、幅広い層の集客が見込める施設が数多くあります。こうした資源を生かした体験型観光メニューの造成や観光情報の発信、地域連携による周遊促進を行うとともに、新たな観光拠点の整備に向けた検討など、地域の観光資源の磨き上げの取り組みを進めています。また、物部川地域の観光活性化のために発足した物部川DMO協議会が中心となり、恵まれた自然環境や豊富な歴史資源、おいしい食などの魅力あふれる観光資源を生かした、圏域ならではの広域観光の推進に取り組んでいます。

(2) 地域アクションプランの概要

当地域では、園芸基幹品目の振興や林業の素材生産の拡大、また水産加工や商工業の振興などに引き続き取り組むほか、食品加工などの6次産業化の推進、交流人口の拡大に向けた観光振興などに重点的に取り組み、地域の活性化、産業の振興を図ります。

農業分野では、園芸基幹品目をはじめとした農作物の品質の向上や次世代型ハウスなどを活用した生産量の増大や省力化技術の推進、さらには消費地との連携を進め、ブランド力の強化や消費拡大に取り組めます。加えて、地域産業クラスタープランに位置付けられている日本一の産地である香南市、香美市のニラや南国市の野菜を活用した6次産業化を推進するとともに、地産地消の推進に関し、学校給食及び業務筋への食材供給の拡大や直販所の体制整備、サービスの充実等による農産物の販売拡大に取り組めます。

林業分野では、森林所有者の所得向上のために森林の団地化を推進し、施業を集約するとともに、高性能林業機械やICT等の導入や効率的な作業道の開設により労働生産性の向上を図ることで、原木生産量の増産を目指します。

水産業分野では、主要魚種のシイラやその他魚種について、販路の維持・拡大による漁業所得の向上及び加工品生産に係る衛生管理の向上に取り組めます。

商工業分野のうち、伝統産業である土佐打刃物については、技術や文化の継承を図るため、鍛冶職人の養成施設である「鍛冶屋創生塾」の運営を通じて、後継者の育成に取り組めます。

また、市や商工会と連携して、中心市街地・商店街の活性化に向けた計画の策定から実行までの支援を行っています。今年度計画を策定された香南市については、計画の実践に向けた取り組みを支援するとともに、既に計画がある南国市・香美市については、それぞれの拠点施設である「ものづくりサポートセンター」・「ふらっと中町」を核とした活性化の取り組みを進めます。

工業分野では、地域の資源にこだわったクラフトビールについて、地域限定商品や期間限定商品の開発による販売拡大に加え、新たに整備した新工場での増産に取り組めます。

高知県産ワインについては、醸造施設等の整備により県内での醸造・生産体制が確立しています。今後は、さらなる生産の拡大に向けてほ場の確保に取り組めます。

観光分野では、既存の観光施設とともに、地域にある自然や歴史などの観光資源を有効に活用した体験型観光プログラムの開発や磨き上げ、情報発信、周遊促進の取り組みに加え、龍河洞をはじめとする観光拠点の活性化に向けて取り組むなど、より魅力ある観光地づくりを進めていきます。

龍河洞においては、民間事業者や地域住民、行政機関が連携して策定した活性化計画に基づく観光拠点の整備に加え、集客イベントや教育旅行・校外学習の誘致の実施等により龍河洞エリアの活性化に向けた取り組みを行っています。

また、ヤ・シィパークにおいては、ユニバーサルデザインの考え方を導入し、多様な意見を踏まえた誰もが楽しめるパークづくりを目指す取り組みが進められています。

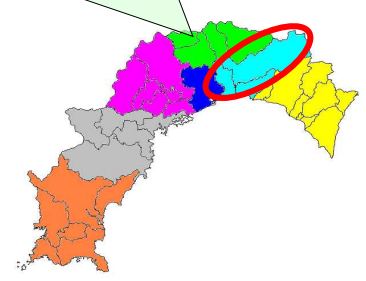
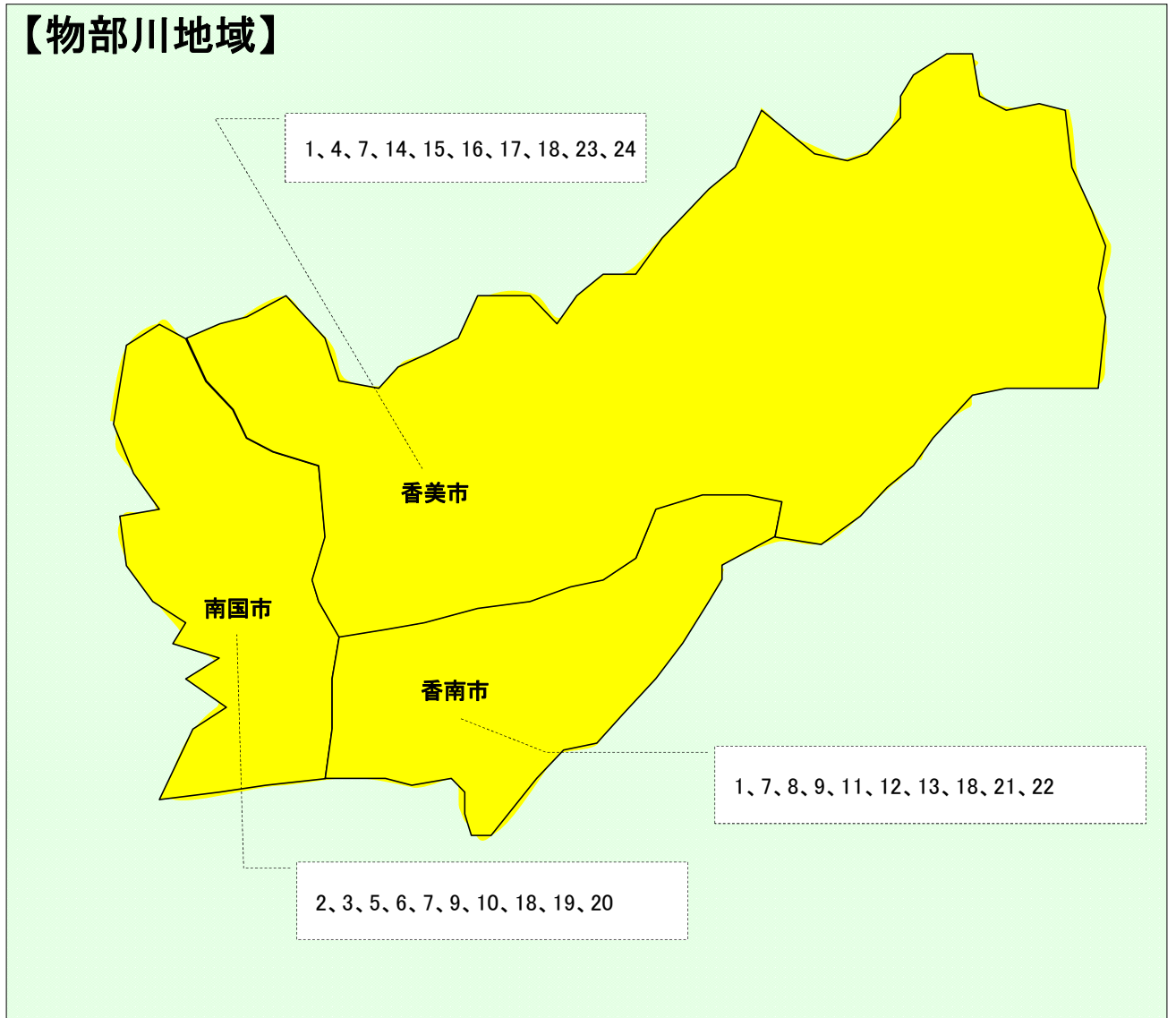
さらに、南国市観光の中核である観光農園「西島園芸団地」をあらためて磨き上げ、時代の変化、顧客ニーズに対応したリブランディングを図るなど、魅力的な観光地として再生を目指します。

また、広域観光の推進においては、物部川 DMO 協議会を中心に、観光商品の開発や磨き上げに取り組むとともに、物部川地域の魅力を集めた企画イベントの開催や NHK の連続テレビ小説「らんまん」を生かした取り組みに加えて、SNS での効果的な発信により観光客の滞在日数を増加させ、観光消費額の拡大につながるよう、より大きな面で受け入れる観光の実現と物部川地域全体の交流人口の拡大に取り組めます。

(3) 具体的な取り組み

No.	項目	南国市	香南市	香美市
1	日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト		●	●
2	南国市農業生産拡大プロジェクト	●		
3	南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化	●		
4	香美市における「物部ゆず」の総合的な産地強化対策			●
5	「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上	●		
6	「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み	●		
7	物部川地域の民有林における原木の増産	●	●	●
8	シイラ等の水産物加工による外商の拡大		●	
9	高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進	●	●	
10	ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化	●		
11	ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の推進		●	
12	香南市における特産品づくりと販売の促進		●	
13	香南市中心市街地の振興		●	
14	香美市における特産品づくりと販売の促進			●
15	香美市の伝統産業(土佐打刃物、フラフ)の振興			●
16	土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化			●
17	香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売			●
18	物部川地域における広域観光の推進	●	●	●
19	南国市の地域資源を活用した観光の推進	●		
20	南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進	●		
21	香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進		●	
22	三宝山エリアにおける観光拠点化の推進		●	
23	香美市における滞在型・体験型観光の推進			●
24	龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進			●

【物部川地域】



AP名 (実施地域)	No.1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト (香南市、香美市) ※地域産業クラスタープロジェクト関連
実施主体	◎JA高知県(香美地区)、◎JA高知県(香美地区ニラ部会)、◎(一社)香南市観光協会、◎(一社)香美市観光協会、香南市、香美市、シミズ・アグリプラス(株)
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	日本一の生産量を誇るJA高知県香美地区のニラ生産拡大に向けた産地ビジョンの実現に向け、「既存農家の経営安定」、「規模拡大志向農家の支援」、「新規就農者、品目転換農家の支援」の3つのプロジェクトを推進し、生産拡大を実現する。また、集出荷体制の高度化や加工業務需要への対応強化、民間企業との協働、地元飲食店での新メニュー開発、機能性の検証等を行い、ニラの消費拡大につなげ産地強化への取り組みを進める。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) ニラ販売額	23.3億円 (R元)	23.6億円	21.9億円	25.6億円	29.7億円
(2) ニラメニューの売上高	81.8万円 (H30)	0円 ※イベント開催なし	0円 ※イベント開催なし		170万円

※園芸年度：8～7月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆生産上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸用ハウス整備 (H28～) ・グリーンカレッジ(新規就農者勉強会)の開催(H28～) ・新規就農者育成支援 (H28～) ・そぐりセンター整備計画策定、そぐり機の新規導入(R元) <p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エコシステム栽培」登録、こうち環境・安全・安心点検シート実施、生産履歴記帳 (H28～) ・出荷場 GAP 点検実施 (H28～) ・地元小学校での出前授業・栽培体験 (野市小学校、佐古小学校、夜須小学校) (H29～R4) ・集出荷場再編整備計画の検討 (R2～3) ・土佐山田第2集出荷場の整備 (R4) <p>◆消費拡大、認知度向上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントでのニラ料理の出店(香南市、R元：14回) ・「香南カーニバル」でのニラメニューの提供 (H29、H30) ・物部川地域情報紙「こじゃん」とへのニラメニュー及び提供店舗の紹介記事の掲載 (R元：3回) ・ニラレシピカードを作成し、道の駅等で配布 (R2) ・クラスタープランの策定 (R3) 	<p><主な成果></p> <p>◆生産上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地提案書の策定・提示：2提案(香南市・香美市) ・ニラ農家の新規就農者：17名 (H28～R4) ・指導農業士の推薦：4名 (H28～R2) ・そぐりセンターの稼働に伴う新規雇用：33人 (R2～3) <p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な農産物生産への生産者の意識向上 ⇒「エコシステム栽培」登録、こうち環境・安全・安心点検シート実施、生産履歴記帳：全戸、出荷場 GAP 点検実施 <p>◆消費拡大、認知度向上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市イベント(香南カーニバル等)へのニラ料理出店による市内認知度の向上 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・収量・品質の向上及び省力化技術等の導入拡大 ・生産規模の拡大、担い手の確保育成 ・そぐりセンター利用拡大による省力化・同センターの安定稼働 ・集出荷場等の利用効率向上に向けた再編整備 ・農業体験・収穫体験メニュー、観光商品の造成およびそのPR(観光協会との連携) ・多様な事業者との連携による加工・業務など新たな需要拡大 ・地元飲食店等の連携による新メニュー開発

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆生産上の対策	生産拡大対策 <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区ニラ部会）： <ul style="list-style-type: none"> 環境制御技術の導入拡大や基本的栽培管理技術の徹底等による収量・品質の向上 園芸ハウス整備事業等を活用した規模拡大 そぐり機の活用等による省力化 担い手の確保と育成のための新規就農者受入れ体制の整備・強化と就農支援 ●県（中央東農業振興センター等）： <ul style="list-style-type: none"> 省力化技術の普及啓発、増収・品質向上技術の検討と導入支援 農地の流動化やハウス整備への支援 新規就農者の確保・研修・経営開始への支援と体制強化 部会活動活性化への助言等 				
	そぐりセンターの効率的・安定的な稼働、新規増設計画検討 <ul style="list-style-type: none"> ●シミズ・アグリプラス(株)：そぐりセンターの運営 ●JA 高知県（香美地区）：そぐりセンターの運営への協力・支援、そぐりセンター増設の検討 ●県（中央東農業振興センター等）：そぐりセンターへの支援（稼働計画策定、増設検討） 				
◆流通、販売上の対策	集出荷作業効率化に向けた集出荷場の高度化再編整備 <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： <ul style="list-style-type: none"> 集出荷場の高度化計画の策定と整備 ●県（中央東農業振興センター等）： <ul style="list-style-type: none"> 整備計画の策定と補助事業への支援 		高度な集出荷体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： <ul style="list-style-type: none"> 集出荷場の効率的稼働・運営 ●県（中央東農業振興センター等）： <ul style="list-style-type: none"> 事業計画実施への支援 		
	香南市、香美市が連携した、地域産業クラスタープランの検討・策定・具体的な取り組みの実施 <ul style="list-style-type: none"> ●香南市、香美市（観光協会）： <ul style="list-style-type: none"> 地元飲食店等との連携によるメニューの拡大や新たな加工品の開発及び既存加工品の販売拡大、地元飲食店等との連携によるニラを活用した地域イベントの充実 ●県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 新たな需要拡大のための支援策の情報提供 				
<p>【用語】・そぐりセンター：ニラの収穫後、出荷のために実施する、そぐり（不要な外葉の除去）や計量、結末の調製作業を生産者から受託する施設</p>					

AP名 (実施地域)	No.2 南国市農業生産拡大プロジェクト (南国市) ※地域産業クラスター関連 (南国市農業クラスタープロジェクト)
実施主体	◎JA 高知県 (土長地区)、◎JA 高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル、Aitosa(株)、(株)イチネン農園、(株)トリムエレクトリックマシナリー
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	南国市の主要農作物(シトウ、ニラ、ピーマン類)及び還元水素水を活用した野菜「還元野菜」の産地の維持・拡大のため、新規設立農業法人をはじめとする関係機関との協力により、コスト削減や品質改善、出荷課題の解決などに取り組み、生産・流通・販売上の課題を解決し、南国市の農業生産の拡大及び「南国野菜」「還元野菜」のブランド化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) シトウ生産量※	606t (R元)	543t	515t	528t	615t
(2) ニラ生産量※	927t (R元)	822t	846t	884t	839t
(3) ピーマン類生産量 (ピーマン・パプリカ) ※	857t (R元)	895t	900t	952t	1,101t
(4) 「還元野菜」の栽培協力 農家数	6戸 (H27~R元累計)	6戸	6戸		7戸 (H27~R5累計)

※園芸年度：9~8月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆シトウの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 産地ビジョンの構築及び推進 (H29~) 労働力確保・省力化対策 (H29~) 新規就農者確保・育成対策、経営体強化対策 (H29~) 四電の農業参入協定締結及び新会社 Aitosa(株)設立 (R2) <p>◆ニラの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷調製施設の実証・整備及び生産事業に関する協議 <p>◆ピーマン類の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培・病害虫管理及び栽培計画策定支援 機能性の検証 (H25~) 企業との農業参入協議 (R元~3) (株)イチネン農園の農業参入協定締結 (R4) <p>◆「還元野菜」の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 西島園芸団地での生産拡大 (R元~4) <p><主な成果></p> <p>◆シトウの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 市販天敵を主体とした天敵導入農家率：88%(R4園芸年度) 土着天敵タバコカミカメの導入農家率：86%(R4園芸年度) 	<ul style="list-style-type: none"> JA高知県土長地区旧3JA合同生産者大会の開催等による、生産技術や販売促進に関する生産者間の交流の促進 <p>◆ニラの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> JAにおける出荷調製施設の整備 <p>◆ピーマン類の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ピーマン類の生産量 R元→R4園芸年度 857t→952t ピーマン：753t→815t (対R元年比：108%) パプリカ：104t→137t(対R元年比：132%) <p>◆「還元野菜」の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力農家数 H27：3戸 → R4：6戸 (累計) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者の確保 シトウ産地の維持拡大、省力化技術の確立、経営体制の強化、GAPの取り組みの推進 ピーマン類(「還元野菜」含む)の生産体制の強化 「還元野菜」栽培協力農家の確保

4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆シシトウの生産拡大	園芸団地の整備による生産拡大・新規就農者の育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●生産者等：規模拡大、品目転換、新規就農者育成等による生産拡大 ●JA 高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策、担い手の育成 ●JA 高知県（土長地区）：出荷調製作業省力化のための施設整備 ●南国市：研修用ハウス（サポートハウス）確保 				
◆ニラの生産拡大	ハウス整備へ向けた計画作成・事業申請		運営開始		
	<ul style="list-style-type: none"> ●Aitosa(株)：計画作成・事業申請 ●県（中央東農業振興センター等）：事業申請等の計画作成支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●Aitosa(株)：栽培技術の習得・技術向上による生産安定 規模拡大志向農家や新規就農者との生産委託や研修体制の充実 ●JA 高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策の支援 		
◆ピーマン類の生産拡大	調製作業省力化設備設置へ向けた計画作成・事業申請		運営開始		調製作業に係る課題の整理と対応策の検討
	<ul style="list-style-type: none"> ●生産者、JA 高知県（土長地区）：計画作成・事業申請 ●県（中央東農業振興センター等）：事業申請等の計画作成支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●生産者：規模拡大、新規就農者育成等による生産拡大 ●JA 高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策、担い手の育成 ●JA 高知県（土長地区）、JA 園芸部ニラ部会：出荷調製作業施設の利用及び運営協力 		<ul style="list-style-type: none"> ●生産者、JA 高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：現状把握、課題整理、対応策の検討
◆「還元野菜」の生産拡大	園芸団地の整備による生産拡大・新規就農者の育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●生産者等：規模拡大、品目転換、新規就農者育成等による生産拡大 ●JA 高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策、担い手の育成 				
◆「還元野菜」の生産拡大	ハウス整備へ向けた計画作成・事業申請			栽培開始	
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)イチネン農園：計画作成・事業申請 ●県（中央東農業振興センター等）：事業申請等の計画作成支援 			<ul style="list-style-type: none"> ●(株)イチネン農園：栽培技術の習得・技術向上による生産安定 ●JA 高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策の支援 	
◆「還元野菜」の生産拡大	市内既存農家や組織の生産維持・規模拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（土長地区）、(株)トリムエレクトリックマシナリー、県（中央東農業振興センター等）： (株)南国スタイル（パプリカ等）、(株)西島園芸団地（メロン等）を中心に「還元野菜」栽培協力農家の拡大 				

AP名 (実施地域)	No.3 南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化 (南国市) ※地域産業クラスター関連 (南国市農業クラスタープロジェクト)
実施主体	◎JA 高知県土長地区出資農業生産法人(株)南国スタイル、◎南国市、JA 高知県 (土長地区)、(株)トリムエレクトリックマシナリー、(一社)南国市観光協会、南国市内食品加工事業者
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	南国市産の野菜(「還元野菜」、「南国野菜」)等、農産物の地元での消費拡大(地産地消)及び加工品の開発・販売(地産外商)を進めることにより、南国市の農業をはじめとした地域産業の活性化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 「還元野菜」の売上高	617万円 (H30)	610万円	961万円		1,000万円
(2) 学校給食における地元野菜の供給割合(金額ベース)	26.3% (H30)	22.1%	26.5%		27.0%
(3) 地域資源を活用した新商品数	13品目 (H28~R元累計)	9品目 (R2)	13品目 (R2~3累計)		12品目 (R2~5累計)

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆「還元野菜」の販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「還元野菜」の県外への販路拡大 (H30~) ・トリム顧客向け「還元野菜」セットの販売 (H30~) ・トリム製品販促素材としての「還元野菜」活用 (H30~) ・還元野菜のインターネット販売 (R2~) <p>◆「南国野菜」の地元消費拡大 (地産地消)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校へ給食用食材の配送 (H21~) ・市内業務筋への食材の定期配送 (H21~) ・農家レストラン「まほろば畑」のオープン (H22~) ・農家レストラン「あぐり食堂ほっと」のオープン (H31~) <p>◆「南国野菜」を使った加工品の開発・販売 (地産外商)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品づくりのための市単独補助金の創設 (H24~) ・かざぐるま市における食品加工施設の整備 (H30) ・道の駅風良里で新商品開発ワークショップの実施 (H30~R2) ・商品開発・販売開始 (R2) <p>◆観光との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「還元野菜」を活用した農業体験モニターツアーの実施 (R元) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「還元野菜」の売上内訳 (R4.11月末) トリム製品販促用「還元野菜」: 443万円 還元野菜・フルーツ通信販売: 31万円 ・市内学校給食における地元野菜の供給金額: 336万円 (R4.11月末) ・市内業務筋への定期配送: 20事業所 ・農家レストラン「まほろば畑」の累計来店者数: 69,023人 (H22~R4.11月末) ・パブリカソースの売上本数: 9,467本 (R2~R4.11月末) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「還元野菜」のブランド化の確立 ・特産品づくりに取り組むプレーヤー、外商に取り組む事業者の育成 ・既存商品の磨き上げ、新たな加工品の開発 ・地産地消を進めるための戦略的な取り組み

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆「還元野菜」の販路拡大	<p>トリムユーザー向け「還元野菜」の活用・販売等（トリムユーザーへのPR、販売を強化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)トリムエレクトリックマシナリー： トリムユーザー向けに「還元野菜」のPR、販売 ●協力農家（(株)南国スタイル、西島園芸団地含む）： 「還元野菜」の生産及び販売への協力 ●県（地域本部等）： 必要に応じ、関係機関や農家への橋渡し 				
◆「南国野菜」の地元消費拡大(地産地消)	<p>学校給食・業務筋への食材供給体制の整備及び供給拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)南国スタイル： 供給体制の整備 ●南国市： 学校給食での活用拡大、市内事業者等との橋渡し、事業者間の連携強化 ●県（農業振興部、地域本部等）： 関係機関への橋渡し、セミナー等の紹介、事業者間の連携強化 				
◆「南国野菜」を使った加工品の開発・販売（地産外商）	<p>加工品の開発、販売と外商の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内加工事業者： 「南国野菜」をはじめとした南国市産の農産物を使った加工品の開発・販売 ●南国市： 補助金の交付により、新商品開発に取り組む事業者や、外商活動を支援、事業者間の連携強化 市内事業者が行う新商品の開発や販促活動等への財政的支援 ●県（農業振興部、地域本部等）： 外商活動、商品の磨き上げや、外商に取り組む事業者のレベルアップのため、関係機関への橋渡し、商談会・相談会・セミナー等の紹介、事業者間の連携強化 				
◆観光との連携	<p>観光との連携（「還元野菜」の里めぐりツアー等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)南国スタイル、(株)トリムエレクトリックマシナリー： 農業体験ツアーの実施に向けた観光事業者との連携・協力 ●県（観光振興部、地域本部）： 必要に応じ、関係機関への橋渡し 				
<p>【用語】・「還元野菜」：整水器を使って生成される「電解水素水」を使って栽培した野菜</p>					

AP名 (実施地域)	No.4 香美市における「物部ゆず」の総合的な産地強化対策 (香美市)
実施主体	◎JA 高知県 (香美地区物部柚子生産部会)、JA 高知県 (香美地区)、香美市、農地中間管理機構 (高知県農業公社)、NPO 法人いなかみ
AP への位置づけ	H21.4月
事業概要	日本一の青果ユズ生産量を誇る「物部ゆず」産地の維持に向け、「新規就農者、認定農業者等担い手の確保・育成」、「集出荷場の整備・作業効率の向上」、「園地の整備、流動化及び機械化・新技術導入による生産向上」を推進する。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) ユズ販売金額 (JA 入金額) ※	4.9 億円 (H28~R 元平均)	4.8 億円 (H29~R2 平均)	4.5 億円 (H30~R3 平均)	4.5 億円 (R 元~R4 平均)	5.0 億円 (R2~R5 平均)
(2) 青果ユズ出荷量 ※	760t (H28~R 元平均)	750t (H29~R2 平均)	709t (H30~R3 平均)	724t (R 元~R4 平均)	770t (R2~R5 平均)

※園芸年度：9~8月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生受入体制の整備 (H28~) ・新規就農者の育成支援 (H28~) ・認定農業者の確保・育成 (H28~) ・I ターンによる就農希望者への住宅情報の提供 (H30~) <p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに応じた青果の安定的な供給体制の確立 (H28~) ・多様な販売ルートの確保に向けた取り組み(H28~) ・「物部ゆず」のブランド力の強化 (H30~) <p>◆生産向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振興系統及び品種への支援 (H28~) ・機械化による生産性向上 (H28~) ・園地の確保及び流動化の推進 (H30~) <p><主な成果></p> <p>◆担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地提案書 (改訂版) の発信・提示 ・指導農業士 5 名の認定 ・ユズの新規就農者：9 名 (H28~) ・認定農業者の確保：新規及び再認定 25 名 (R4.12月) 	<p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青果出荷量の安定供給：691t (R4 園芸年度) ・卸売市場を通じたシンガポールへの輸出継続：90kg (R3 園芸年度) ・「物部ゆず」で地理的表示(GI)に登録 (R2.6月) <p>◆生産向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業による園地の確保・流動化：7 件 (H30~) ※見込みを含む ・スピードスプレー(薬剤噴霧機)の導入：1 件 (H30) ・優良系統及び品種の栽培面積の普及：面積 136ha、普及率 95.7% (R4 園芸年度) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生受入体制の強化 (情報発信等) ・住環境の提供による移住での新規就農者の確保 ・新規就農者の就農計画の策定及び技術習得 ・担い手の営農計画の策定 ・冬至玉の出荷予測精度の向上 ・集出荷場の作業効率の向上 ・剪定・防除等の基本技術の徹底、計画的な新改植等による青果ユズの確保 ・収穫期の労働力確保 ・園地の流動化などによる生産規模の維持・確保

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆担い手対策	担い手の確保・育成、受入体制の見直し				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 研修生受入体制の整備・強化と就農支援、産地提案書の見直し、指導農業士の確保 担い手の各事業計画（就農計画・経営改善計画・資金借受計画等）の策定 ●香美市：新規就農者の確保・育成のための各事業・施策による支援、認定農業者の確保・育成への支援 ●NPO 法人いなかみ：産地の情報発信、空き家等の住宅情報の提供 ●県（中央東農業振興センター等）：研修生の受入体制への助言、担い手の各事業計画の策定支援等 				
◆流通、販売上の対策	冬至玉の出荷予測精度の向上		予測システムの運用・修正		
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 予想出荷量と市場要請量との調整、予測精度の向上 ●県（果樹試験場・中央東農業振興センター等）： AI等を活用した出荷予測精度向上への支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 予測システムの運用と市場要請量との調整 ●県（果樹試験場・中央東農業振興センター等）： 予測システムの活用に向けた普及と改良 		
	集出荷場の整備・作業効率の向上		集出荷場作業行程改善の運用・検証		
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： 集出荷場の整備計画の策定 作業行程等の見直し ●県（中央東農業振興センター等）： 作業行程等の見直しへの支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： 作業行程改善後の運用と更なる見直し ●県（中央東農業振興センター等）： 作業行程等の見直しへの支援 		
	「物部ゆず」のブランド力の強化				
<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： GIを活用した販売促進活動、市場経路による輸出継続 					
◆生産向上対策	青果生産量の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会、無料職業紹介所）： 部会活動（講習会、現地検討会）の活性化、産地間交流の推進、労働力確保に向けた体制整備 ●県（中央東農業振興センター、果樹試験場等）： 部会活動への支援、産地間交流支援、優良系統・品種及び新技術に関する情報提供、労働力確保への支援 				
園地の整備・流動化・機械化の推進					
<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）：意向調査に基づく園地情報の提供 ●香美市（農業委員会）：園地整備・機械化に関連する事業支援、担い手への園地集積のための農地情報提供 ●農地中間管理機構：担い手への園地集積のための農地情報提供 ●県（中央東農業振興センター等）：園地マッチングへの支援、園地整備・機械化に係る事業支援 					
<p>【用語】・青果ユズ：果実への傷、生理障害、病斑が少ない良質のユズ。「酢玉」以外の出荷品。物部柚子生産部会の規格では「青玉」、「カラーリング玉」、「黄玉平箱」、「冬至玉」、「貯蔵玉」、「小袋包装」が該当する。R3園芸年度の実績で青果率は55.8%</p>					

AP 名 (実施地域)	No.5 「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上 (南国市)
実施主体	◎(株)なの工房、◎畑の食堂 Copan、JA 高知県 (土長地区長岡支所)
AP への 位置づけ	H24.4 月
事業概要	旧直販所「あけぼの市」を国道 195 号通称「あけぼの街道」沿いに移転拡充した「なの市」、平成 30 年にオープンした「畑の食堂 Copan」で、地域農産物の販売や地域資源を活用した加工品の開発・販売及び飲食物の提供を行い、地域農業者の所得向上を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
直販所等の売上高	1 億 2,533 万円 (H30)	1 億 1,192 万円	1 億 532 万円		1 億 3,740 万円

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆直販所・飲食店の移転・拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道 195 号沿いへの直販所・飲食店の移転・拡充・オープン(H25~26) ⇒H25 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用 (事業費 1 億 359 万円) <p>◆組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み</p> <p>【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)なの工房としてカフェを廃止 (「なのカフェ」の閉店) ⇒雇用数の整理及び直販所事業に専念 (H29.1 月) ・経営改善に向けた産業振興アドバイザーの導入 (H29~30) ・経営力向上会議の定例開催 (月 1 回) による、経営状況の把握及び経営改善計画の進捗管理 (H30) ・リーダー会の定例開催 (月 1 回) による、経営状況の把握及び経営改善に向けた取り組みの確認・徹底 (R 元~) ・POP、店舗陳列に関するアドバイザー導入 2 回 (R2~3) <p>【畑の食堂 Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「畑の食堂 Copan」オープン (H30) ・六次産業化セミナー参加による商品開発 (R2) ・オンラインショップの開設 (R2) ・POP の掲示による PR 強化 (R2~) 	<p>◆来客増に向けた取り組み</p> <p>【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元果物を使った新商品の販売開始 (H28) <p>【畑の食堂 Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントへの出店 (H30~) ・テイクアウトコーナーの新設 (R 元) ・新商品 (ディップソース、ミールセット) の販売開始 (R2) ・「つぼんの宝物 Japan 大会 2020-2021 調理・乳製品部門 グランプリ受賞 畑のディップソース (R2) ・スチームコンベクション、充填機導入 (R3 事業再構築補助金) ・キッチンレーラー導入 (R3 事業再構築補助金) <p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑のディップソース取扱店舗：18 店舗(R3.11 末) <p><課題></p> <p>【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷品目の充実 ・経営の安定化 <p>【畑の食堂 Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来客数の増 (13 時以降のランチ客増) ・新メニュー、テイクアウト商品の開発 ・加工品の販路開拓

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み	日別の目標売上額の設定と予実管理による経営の安定化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)なの工房： 財務分析による経費削減（会計士と相談しながら日別の目標売上額を設定したうえでの継続的な管理） ●県（地域本部等）： 経営の改善に向け、必要な助言を得るため、関係機関への橋渡し、セミナー等の紹介 				
◆来客増に向けた取り組み	新規出荷者の確保・出荷品目の充実				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)なの工房： 生産者会議での呼びかけ、店舗へのチラシの掲示、生産者への売上データの送付、呼びかけ ●JA 高知県（長岡支所）：生産者への呼びかけ ●県（地域本部等）： 関係機関への橋渡し、セミナー等の紹介 				
	新商品・新メニューの開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●畑の食堂 Copan： 季節の農産物を使った新メニュー、テイクアウト商品の開発（新規及びリピート客の確保） ●県（地域本部等）： 新メニュー、新商品開発を促進するため、関係機関への橋渡し、セミナー等の紹介 				
集客に向けたプロモーションの実施					
<ul style="list-style-type: none"> ●畑の食堂 Copan： SNS への日替わりメニューやビュッフェメニューの写真の掲載等による情報発信 市内外のイベントへの積極的な出店 					
<p>【用語】・SNS：「Social Networking Service」の略。インターネットを通じて個人間の幅広いコミュニケーションを支援するサービスのこと。代表的な SNS としては、Facebook などがある。</p>					

AP 名 (実施地域)	No.6 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み (南国市)
実施主体	◎企業組合ごめんシャモ研究会、南国市商工会、南国市
AP への 位置づけ	H23.4月
事業概要	<p>坂本龍馬の逸話を生かした「シャモ鍋」等の新たなメニューを創出し、イベントでの販売や加工品販売により、県内外に向けてご当地グルメとして情報発信を行う。</p> <p>また、ごめんケンカシャモの飼育・安定供給体制を整備し、トレーサビリティの確立等による高付加価値化を図ることで、ブランド鶏肉としての外商戦略を展開していく。</p> <p>これらの生産から販売までの過程を通して、ごめんケンカシャモを知ってもらい、南国市を訪れてもらう『地産「来」消』の仕組みの確立を図る。</p>

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 売上高	5,178 万円 (H30)	2,140 万円	1,974 万円		6,000 万円
(2) 飼育羽数	2,341 羽 (H30)	1,638 羽	1,062 羽		3,000 羽

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直営鶏舎の整備、飼育開始 (H24～) ・貯卵・孵卵設備を高知農業高校に整備(H26.1月) →H25 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用 (事業費 418 万円) ・ものづくり補助金を活用した食鳥加工センターの整備 (H29) ・県版 HACCP 第 2 ステージの認証取得 (H31.4月) ・食鳥処理の外注開始 (R2～) ・鳥獣被害対策等の実施 (R3～) <p>◆加工品開発及びご当地グルメとしての確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごめんシャモ鍋社中 (市内提供店舗) の取り組み (H22～) ・加工品 (シャモ鍋セット) の開発 (H23) →H23 産業振興推進総合支援事業費補助金 (ステップアップ事業) の活用 (事業費 202.4 万円) ・直営のシャモ料理専門店「軍鶏伝」の運営(H27～) 	<p>◆組織の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会の開催 (毎月) <p><主な成果></p> <p>◆ごめんケンカシャモ提供店舗数 (市内) H26:19 店舗→H30:20 店舗→R2:18 店舗</p> <p>◆貯卵から販売までの課程を一括管理出来る体制の構築</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャモ肉の安定供給のための生産体制の強化 ・組織の強化

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ごめんケンカ シャモの安定供給体制の確立	生産体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●企業組合ごめんシャモ研究会： 飼育データの収集・蓄積による年間生産計画の確立と飼育体制の強化 地元高校等、教育機関と連携した飼育の実施 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供 				
◆加工品開発 及びご当地グルメとしての確立	加工品開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●企業組合ごめんシャモ研究会： 前年度の取り組みの検証、新たな加工品の開発 生産量・品質の維持管理及び県版 HACCP 第3ステージ認証取得による衛生管理の向上、高付加価値化 ●県（地域本部等）：セミナー、商談会等の紹介、関係者への橋渡し 				
	ご当地グルメとしての確立				
<ul style="list-style-type: none"> ●企業組合ごめんシャモ研究会： イベントを通じたPR活動、軍鶏伝、マスメディア等を活用した情報発信 「シャモ鍋社中」加盟飲食店によるシャモ料理提供、同志（加盟店）の増加に向けた活動 商談会参加等による都市圏外食産業への販売セールス、ネット販売等の外商チャンネルの活用 ギフトやふるさと納税を活用した販路開拓、販売促進 ●南国市：ふるさと納税返礼品による商品のPR、イベント等の紹介 ●県（地域本部等）：イベントの紹介、関係者への橋渡し 					
◆組織の強化	経営力の向上				
	<ul style="list-style-type: none"> ●企業組合ごめんシャモ研究会： 組織の方向性の明確化（専属職員の配置を検討） 部門別（営業、経理、加工等）の人材育成 資金管理による経営強化 ●南国市商工会： 経営強化へのアドバイス 				
<p>【用語】・HACCP：「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略。日本語では、「危害分析重要管理点」と訳されており、「ハサップ」と呼ばれている。製造における重要な工程を連続的に監視・記録することによって、一つひとつの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のこと</p>					

AP 名 (実施地域)	No.7 物部川地域の民有林における原木の増産 (物部川地域全域)
実施主体	◎香美森林組合、◎物部森林組合、◎林業事業者等
AP への 位置づけ	H21.4月
事業概要	物部川地域の民有林において事業地の拡大と生産性の向上を図り、原木の増産に取り組むことにより、森林所有者の所得向上と山林地域の振興に資する。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
原木生産量(民有林のみ)	50,678m ³ (H30)	43,670m ³	45,342m ³		56,880m ³

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆地元説明会の開催及び補助事業等の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内市及び事業者に対する事業説明会及び勉強会開催 (H21～) 市広報への間伐 PR 記事掲載 森林組合による境界明確化事業実施 航空レーザー測量成果を活用した森林情報データの活用方法の検討 (香美市) <p>◆生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 原木増産推進事業の活用による基盤整備(H28～) 高性能林業機械の導入：10台 (H28～R4) 作業道整備：112,004 m (H28～R4) <p>◆担い手の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 森の工場での OJT (緑の雇用) の実施 (H28～) 林業大学校卒業生の採用 (H29～) <p><主な成果></p> <p>◆原木生産量 H26：35,887 m³ → R3：45,342 m³</p> <p>◆香美森林組合における労働生産性の向上 皆伐 H29：5.9 m³/人日 → R3：7.7 m³ 間伐 H29：3.7 m³/人日 → R3：5.5 m³</p>	<p>◆管内森林組合及び林業事業者への林業大学校卒業生の採用 17名 (H29～R4)</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 素材生産量の確保に向けた、物部川地域内における事業地の確保 素材生産の効率化に向けた、高性能機械導入等による産性向上のさらなる推進 林業大学校との連携などによる、次世代を担う林業従事者の確保

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆事業地の拡大	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;">森の工場の維持、拡大</div> <ul style="list-style-type: none"> ●森林組合、事業者： 森の工場の継続、新規森の工場の拡大 				
	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;">森林経営管理制度を通じた事業地の拡大</div> <ul style="list-style-type: none"> ●森林組合、事業者： 森林管理制度による事業地の拡大 				
◆生産性の向上	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;">生産性の高い作業システムの活用促進</div> <ul style="list-style-type: none"> ●森林組合、事業者： 架線系から車両系へ、より生産性の高い作業システムへの転換を促進 路網整備の促進及び新たな作業システムの検討 ●県（中央東林業事務所等）： 高性能林業機械の導入、作業路網の整備等に対する支援（補助金等） 				
◆担い手の確保	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;">担い手の確保</div> <ul style="list-style-type: none"> ●森林組合、事業者： 事業管理を担当する職員の確保、プランニング等のスキル向上 即戦力として林業大学卒業生の積極的な雇用 ●県（中央東林業事務所等）： 森林施業プランナーの研修に対する支援 				

【用語】・森の工場：成熟しつつある人工林資源を利活用するために、森林を集約化したもの。集約化によって、事業者は収益性が向上、森林所有者への収益の還元、林業就業者の安定的な雇用につなげることができる。

・森林施業プランナー：持続的な森林経営のため、森林所有者から施業を受託し、森林施業の集約化や森林経営計画の作成の中核を担う者。全国統一の認定制度のもとに認定されると「認定森林施業プランナー」となる。

AP名 (実施地域)	No.8 シイラ等の水産物加工による外商の拡大 (香南市)
実施主体	◎高知県漁業協同組合手結支所、香南市、(一社)香南市観光協会
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	高知県漁協手結支所がシイラや養殖魚等の水産物の加工を推進し、県内外への販路を拡大することによって、浜値の向上と付加価値の増を通じて、漁業者の所得向上を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
水産品の販売額	4,939万円 (H28~30平均)	4,055万円	3,615万円		5,400万円

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆販売事業の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターへの販売 ・とさのさとでの販売 ・漁協の入札参加 (H21~) →漁協自身が手結市場のセリに参入したことにより、買受業者間の競争が活気づくとともに、大漁時の価格の底支えにつながり、浜値の平均単価向上につながった。 <p>◆販売形態の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設の整備 →(国)強い水産業づくり交付金を活用して、漁具倉庫を共同作業場に改修 (H21) →(県)漁業生産基盤維持向上事業を活用して、施設の衛生管理向上対策を実施 (H23) ・高知県食品高度衛生管理手法認定を取得 (H26) ・ヘッドカッターの導入 (H28) →シイラの加工において作業員不足や高齢化による作業効率の低下が改善されたことで、取扱可能量が増大し生産体制が強化された。 ・真空包装機の導入 (R3) →効率的にロイン等を生産することが可能となり、出荷形態の拡充が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚、冷凍、加工品の販売で販路拡大 →鮮魚や冷凍品は、県外の飲食チェーンや県内の商社等の大口取引先へ販路が拡大し、加工品は県内の流通業者や学校給食等へ販路が拡大した →県内量販店との新規取引が開始され (R3:1社、R4:3社)、手結産の鮮魚として一定定着している。 <p><主な成果></p> <p>◆漁協加工事業の販売額拡大</p> <p>H21 : 351.2万円 → R3 : 3,615.3万円</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な相場に左右されにくい産地相場力の強化 ・販売額の向上と安定化に向けた取引先との関係強化 ・地元における認知度向上 ・産地仲買人の減少による市場の不活化

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆販売事業の拡大	<p>販路の維持・拡大に向けた営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高知県漁協手結支所： <ul style="list-style-type: none"> 地元や近隣の学校給食への販売を維持 県内外の取引先との取引の継続 新たな販路開拓のための営業活動 ●県（中央漁業指導所等）： <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供等 				
◆販売形態の拡充	<p>一次加工による商品ラインナップ拡充対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高知県漁協手結支所： <ul style="list-style-type: none"> 営業先からの要望に細やかに対応できる体制づくり 自動真空包装機の導入による商品拡充（ロイン等） ●県（中央漁業指導所等）： <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供等 				
◆認知度の向上	<p>地元におけるPR体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高知県漁協手結支所、(一社)香南市観光協会、香南市等： <ul style="list-style-type: none"> シイラを用いた新商品を地元においてPRする体制づくり、水産関係者とは分野の事業者とのマッチング ●県（中央漁業指導所等）： <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供等 <p>知名度向上に向けた情報発信（プロモーション活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高知県漁協手結支所、(一社)香南市観光協会、香南市等： <ul style="list-style-type: none"> PR情報の発信（飲食店紹介パンフレット、動画公開等） 地元イベント等でのPR機会の創出 ●県（中央漁業指導所等）： <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供等 				
<p>【用語】・ロイン：魚の切り身の一つの形態。3枚に下ろした半身を半分に縦に切った状態のもので「四つ割り」とも呼ばれる。</p>					

AP 名 (実施地域)	No.9 高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進 (南国市、香南市)
実施主体	◎井上ワイナリー(株)、井上石灰工業(株)、南国市、香南市
AP への 位置づけ	H30.9月
事業概要	ブドウ栽培からワインの醸造・販売までの一貫した体制の構築に向け、ブドウの栽培面積の拡大や醸造施設の建設、人材の育成等に取り組むとともに、県内各地の遊休農地でのブドウ栽培の実現と、高知県の食材とのコラボレーションや PR 活動を行い、県内産ワインとしてのブランドを確立し、県内にワイン文化を醸成し、土佐ワインバレー構想の実現を目指す。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
商品売上高	1,057 万円 (H30)	824 万円	1,466 万円		5,912 万円

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆栽培面積の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・井上石灰工業(株)の新事業としてワイン用ブドウの栽培を開始 (H25) ・ワイン造りの専門家をコンサルタントに迎え、県内での栽培技術を習得 (H25～) ・物部川 3 市以外の市町村での圃場の確保：市町村との協定締結 (R 元～) ◆醸造・生産体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・ワインの製造、販売を目的に井上ワイナリー(株)を設立 (H28) ・ワイン醸造施設の建設(R2) →産業振興推進総合支援事業費補助金の活用(事業費 2.2 億円) ・自社醸造を開始し、ヌーボーを販売 (R3) ・のいち醸造所グランドオープン (R4) ◆ブランドの確立 <ul style="list-style-type: none"> ・個人会員制を採用し、県産ワインファンへの直接販売 会員数：515 名 (R 元) →600 名 (R3) ・新作ワインとオードブルのセット販売 (R2～) ・E C サイト、小売店等での販売 (R3～) ◆他の事業者との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・龍河洞での熟成保管の実施 (R 元～) ・グロサリー商品の開発 (R 元～)、販売 (R3～) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆圃場の拡大 182 アール (13 箇所) (H25～R4) ◆ブドウ生産量 H27:870 kg→R4:17,049 kg ◆商品売上 <ul style="list-style-type: none"> ・ワイン販売 H28:302.3 万円→R3:1,466.5 万円 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる圃場の確保によるブドウの栽培収量の増大 ・高度な醸造技術を習得した人材の育成 ・他の事業者と連携したグロサリー商品の開発 ・知名度の向上

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆栽培面積の拡大	<p>圃場の確保、収量の増大</p> <ul style="list-style-type: none"> ●井上石灰工業(株)：遊休地の活用、県内各地の集落活動センターとの連携、自社圃場の拡大 ●香南市：遊休地情報の提供、インターン制度への支援 ●県（地域本部等）：集落活動センターとの橋渡し支援、その他各種支援制度に関する情報提供 				
◆醸造・生産体制の確立	<p>自社醸造の開始と醸造施設の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ●井上ワイナリー(株)： 醸造施設の安定的な運用 高度な醸造技術を習得した人材の育成 <p>高度な醸造技術を習得した人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●井上ワイナリー(株)： 社員の醸造研修への派遣、ブドウ栽培～出荷まで、すべての工程を担える社員の育成 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
◆ブランドの確立	<p>高知県産ワインとしての認知度向上と個人顧客の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ●井上ワイナリー(株)：空港での広告（通年）、PRイベントの実施、新酒発表会の開催 ●南国市、香南市：市内でのPRイベント開催補助、ふるさと納税商品への採用 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供 				
◆他の事業者との連携	<p>グロサリー商品の開発と販路の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ●井上ワイナリー(株)：地元食材を取り扱う事業者と連携した、様々なグロサリー商品の開発及び販売 ●香南市：各種支援制度に関する情報提供 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供 				
<p>【用語】・グロサリー：中食主体の食料品・生活雑貨などを総称する言葉。生鮮食品は含まれない。</p>					

AP名 (実施地域)	No.10 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化 (南国市)
実施主体	◎南国市、◎南国市商工会、◎(株)海洋堂高知、南国市中心市街地振興協議会
APへの 位置づけ	H21.4月
事業概要	「ものづくり、ひとづくり、まちづくり」の拠点施設となる、ものづくりサポートセンターの整備を契機として、中心商店街がものづくりを志す人材が集うまちとなるよう、交流人口の拡大や商店街の活性化に資する取り組みを行う。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) エリア内の売上高	11億 5,569万円 (R2)	11億 5,569万円	13億 998万円		12億 5,624万円
(2) 新規出店数	0件 (R2)	0件	0件		12件 (R2～5 累計)
(3) 拠点施設の入場者数	8,428人 (R2)	8,428人	72,765人		33,000人

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆中心市街地の賑わい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごめんまち将来像プラン」の策定 (H27) ・中心市街地振興計画の策定 (R2) <p>◆各種イベントの開催や空き店舗の活用等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)海洋堂と南国市による連携協定の締結 (H28) ・(株)海洋堂と連携したジオラマ教室や「みんなのモノづくり展」、「ナンコクフェスティバル」等のイベントの開催 (H28～) ・ものづくりイベント「ごめん tete マルシェ」の開催 (R元～) ・「ソフビ・アートフェスティバル in NANKOKU」の開催 (R3) <p>◆拠点施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化協議会による南国市地域経済活性化計画の策定 (H30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済活性化拠点施設整備等事業費補助金 (R元) の活用 (総事業費：12億7,426万円) ・空き店舗調査 (R2～) <p><主な成果></p> <p>◆中心市街地の賑わい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップオープン (R4.6～) チャレンジャー 累計3名 <p>◆拠点施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R元.8月着工 ⇒ R2.12月竣工 ⇒ R3.3.21 グランドオープン <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な賑わいを創出するために、地域住民と一体となった取り組みの実行 ・ものづくりサポートセンターへの集客と、周辺地域と連携した地域活性化の推進
--	--

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ 中心市街地の賑わい創出	中心市街地振興計画の策定・実行				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 南国市、南国市商工会： <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の賑わいを創出する企画の策定 ● 南国市： <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地振興協議会における計画の進捗管理 ● 県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 計画の策定支援及び進捗等の情報共有、関係者への橋渡し 				
◆ 各種イベントの開催や空き店舗の活用等	各種イベントの開催				
	<ul style="list-style-type: none"> ● (株)海洋堂高知： <ul style="list-style-type: none"> 施設のPRを兼ねた、ものづくりイベントの企画・実施 ● 南国市、南国市商工会： <ul style="list-style-type: none"> (株)海洋堂高知と連携した、ものづくりイベントの実施 ポケットパークにおける定期的なイベント開催 軽トラ市、ごめんteteマルシェ等イベントと連携したものづくりサポートセンターから中心市街地への周遊を促す仕組みづくり ● 南国市：地域おこし協力隊の採用 ● 県（地域本部等）：関係者への橋渡し 				
	中心商店街における空き店舗の活用等				
<ul style="list-style-type: none"> ● 南国市、南国市商工会：空き店舗及び地域資源を生かしたイベントの実施、新規出店者数増へつなげるため、チャレンジジョブ事業の検討及び推進 ● 南国市商工会：チャレンジジョブの運営、チャレンジャー支援 ● 県（商工労働部、地域本部等）：商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 					
◆ 拠点施設の整備・運営等	施設の整備		施設の運営		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 南国市： <ul style="list-style-type: none"> 施設の設置・管理に係る手続き 施設運営の準備 ● 県（地域本部等） <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供、関係者への橋渡し 		<ul style="list-style-type: none"> ● (株)海洋堂高知：フィギュアの生産開始 ● 南国市： <ul style="list-style-type: none"> 定期的なイベントの開催 施設への入込客数増に向けた取り組み 来場者に中心市街地を周遊してもらう仕組みづくり 南国市地域経済活性化計画の進捗管理 ● 県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 施設運営状況等の情報共有、セミナー等の紹介、関係者への橋渡し 		

AP名 (実施地域)	No.11 ヤ・シパークを核とする地域の活性化の推進 (香南市)
実施主体	◎(株)ヤ・シ、香南市
APへの位置づけ	H27.9月
事業概要	地域の自然や食材を生かした賑わいの拠点づくりを進めるため、ヤ・シパークを核にした仕組みづくりや体制づくりに官民一体となって取り組み、地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 加工所兼店舗の売上高	2,687万円 (H30)	1,817万円	2,237万円		5,587万円
(2) 「道の駅やす」入込数 ※	28.6万人 (R元)	26.8万人	25.7万人	25.8万人	29.8万人

※1～12月

これまでの主な動き

＜これまでの取り組みの内容＞

◆売上アップに向けた取り組みの強化

- ・新設の加工所兼店舗「マナマナ」の整備 (H27)
⇒H27 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用
(事業費 6,026.2 万円)
- ・(株)ヤ・シが高知県観光活性化ファンド投資先の(株)ものべみらいと経営指導・助言に関する業務委託契約を締結 (H29)
⇒人材派遣を受けて再建に着手 (H30 より黒字転換)
- ・高知県産品商談会への出展 (H29～R3)
- ・「食の大商談会」(東京) への出展 (H29、R元)
- ・「まるごと高知」との商談 (R2)
- ・食品産業総合支援事業費補助金を活用した PR 強化
- ・IT 導入補助金を活用した HP の作成 (H30)
- ・県版 HACCP 第 2 ステージの認証取得 (R2)

◆ヤ・シパークを核とした地域の活性化の取り組み

- ・ヤ・シパーク将来構想検討会(H29.11月～H30.3月)
⇒産業振興アドバイザーを活用し、『ヤ・シパーク将来構想』を策定 (H30.3月)
- ・ヤ・シパーク活性化推進協議会 (H30～)
- ・(株)ものべみらいによる、ヤ・シパーク指定管理者(株)ヤ・シへの投融資と人材の派遣等による支援 (H30)
- ・観光拠点等整備事業費補助金の活用 (H30)
 - ①【市】ヤ・シパークグランドデザインの策定 (H31.3月)
 - ②【市】マリンスポーツの備品整備
 - ③【(株)ヤ・シ】グランピングの備品整備、イベント開催

- ・ヤ・シパーク整備計画推進調査委託 (R元)
- ・四国初のユニバーサルビーチ実現に向けた取り組み開始 (R2～)
- ・今後の公園整備等の方向性を整理 (R2～R4)
- ・インクルーシブ化に係る設計委託 (R4)

＜主な成果＞

- ・加工所兼店舗の売上高
H27:0円→R3:2,237.2万円
- ・「道の駅やす」入込数
H27:29.7万人→R4:25.8万人
- ・マリンスポーツ体験受入: 507人 (R元.7月～R4.12月)

＜課題＞

- ・加工所兼店舗の売上アップ
- ・外商活動強化、経営改善
- ・店舗の運営体制強化
- ・サイクリングやマリンアクティビティなどの連携による観光拠点化の推進
- ・多様な意見をふまえたインクルーシブ化の検討

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
<p>◆売上アップに向けた取り組みの強化</p>	<p>加工所兼店舗の売上増への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)ヤ・シイ： <ul style="list-style-type: none"> ①【内部の体制強化】 店舗の運営体制の強化、新商品の開発、アイスバーの生産体制の強化、ミーティングの実施等 ②【店舗の周知】 イベントへの出店・出品、自主イベントの開催、情報発信 ③【外販の強化】 商談会への出展、外商活動の強化 ●香南市： 販売機会の増加のための「れんかいこうち」事業等の情報提供、店舗の運営の状況把握 ●県（地域本部）： 新商品開発や店舗の経営改善のための産業振興アドバイザー制度の活用提案 商談会やコンテスト等の情報提供・研修会の案内 販路開拓等の事業者の課題解決のための関係部署からの情報収集と伝達 				
<p>◆ヤ・シイパークを核とした地域の活性化の取り組み</p>	<p>ヤ・シイパークの整備に向けた協議及び合意形成、整備の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)ヤ・シイ： <ul style="list-style-type: none"> 活性化協議会を通じた整備方針の検討及び意見反映 適切な維持管理の実施 観光拠点化に向けた運営体制の確立 ●香南市： 商業施設部分の振興やアクティビティについて、活性化協議会を通じた整備方針の検討 ●県（地域本部、地域観光課、港湾・海岸課）： 活性化協議会を通じた整備方針の策定及び整備の検討 ヤ・シイパークの観光拠点化に向けた関係者間の合意形成 				

AP名 (実施地域)	No.12 香南市における特産品づくりと販売の促進 (香南市)
実施主体	◎(一社)香南市観光協会、香南市内の事業者、香南市
APへの 位置づけ	H21.4月
事業概要	香南市の地場産品を事業者が開発し、香南市のカタログ販売やネット販売、ふるさと納税の返礼品などの販路を活用し、香南市全体で販売活動を行い売り出すことで、香南市の知名度の向上や地域の農業者、商業者等の所得の向上を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
特産品の売上高	1億1,975万円(H30)	1億6,966万円	1億1,016万円		1億2,500万円

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆地場産品の開発、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新事業者の開拓や複数事業者の商品を集めたコラボセット化、季節商品の開発によるカタログ、ネット販売及びふるさと納税返礼品の取扱品の増加 <p>◆地場産品のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)香南市観光協会 地場産品販売促進部によるPR、販売促進 ⇒香南市ギフトカタログによる販売(H22～) ネット(香南まるごと旨市)による販売(H23～) ・ふるさと納税の広報の強化 ⇒「ふるさとチョイス」への掲載(H26～) 楽天市場でのネット掲載(H29～) 香南市ふるさと納税特設サイト「香南日和」の開設(R元) 「香南日和」掲載のPR動画作成(R2) ・ECサイトのリニューアル(R3～4) 	<p><主な成果></p> <p>◆特産品の売上高</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタログ、ネットによる販売額(香南市観光協会) H26:192万円 → R3:990万円 ・ふるさと納税返礼品買取額(香南市) H26:646万円 → R3:1億26万円 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタログ、ネット、ふるさと納税返礼品用商品のさらなる増加 ⇒地域の一次産品を活用した商品開発の促進 ・広報活動の強化(販売機会の増加) ・商品販売体制の強化 ⇒事業者が注文を受ける体制づくり
--	---

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
<p>◆ 地場製品の開発、販売促進</p>	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; display: inline-block; border-radius: 10px;"> 新商品開発 </div>				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 香南市内の事業者： <ul style="list-style-type: none"> 特に香南市産の原材料を使った新商品の開発 香南市内での加工・生産・販売 ● (一社)香南市観光協会： <ul style="list-style-type: none"> 会員の増加 ● 香南市： <ul style="list-style-type: none"> コラボ商品や季節商品の企画によるふるさと納税返礼品の増加 商品企画・開発を支援するための市産振補助金の市内事業者への提案 ● 県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 新商品の試作品づくりに対する産業振興アドバイザーの活用提案 				
<p>◆ 地場製品のPR</p>	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; display: inline-block; border-radius: 10px;"> 商品販売体制の強化 </div>				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 香南市内の事業者： <ul style="list-style-type: none"> 食品表示の適正表示 問い合わせ対応の強化 ネット販売・システム化の推進 ● (一社)香南市観光協会： <ul style="list-style-type: none"> 県内外のイベントでの特産品販売・カタログ等の配布 香南市内外でのフェア・大会等のギフト・景品としての詰合せギフトの活用促進 ● 香南市： <ul style="list-style-type: none"> 各種ふるさと納税サイトやPR冊子等を用いた情報発信 商品の販路拡大を支援するための市産振補助金の活用提案 ● 県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 外商を促進するための商談会の情報提供、表示や衛生管理に関する研修の案内 販路開拓等に関する相談の受付・支援機関への情報提供 				

AP名 (実施地域)	No.13 香南市中心市街地の振興 (香南市)
実施主体	◎香南市、◎香南市商工会
APへの 位置づけ	R2.4月
事業概要	香南市中心市街地において、補助金を活用した利用可能な空き店舗の改修等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、周辺の観光施設等と連携し、中心市街地を核とした地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
空き店舗等を活用した 新規開業数	0件 (H30)	0件	0件	1件	8件 (累計)

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆空き店舗対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市空き店舗等対策事業費補助金の創設 (H28) ⇒空き店舗改修等に対する補助 ⇒要綱改正 (R元) 補助対象を商店街の活性化から商業活性化へと拡大 活用実績：1件 (H28～R元累計) ⇒要綱改正 (R3) 対象業種を拡大し (高知県信用保証協会の定める保証対象業種を対象とする) ⇒要綱改正 (R4) 補助率及び補助上限額の引き上げ (補助率4分の1、上限額500千円とする) ・商工会等HPへの空き店舗物件情報の掲載 (H30) ・チャレンジショップ実現可能性の検討 (R元) ・空き店舗実態調査 (野市町) の完了 (R3) <p>◆運営体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市産業振興計画における取り組みの位置付け (R元) ・香南市中心市街地活性化協議会の開催 (R4) ・香南市中心市街地活性化WGの開催 (R4) ⇒香南市中心市街地活性化計画の策定 (R4) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等を活用した新規開業数 1件 (R4) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗補助金の活用による創業の促進 ・空き店舗情報の把握と関係者間での共有 ・空き店舗情報の発信 (市内外へのPR) ・新規創業希望者へのサポート体制の確立 ・香南市中心市街地活性化計画アクションプランの実施主体の決定
---	--

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆空き店舗対策	空き店舗実態調査等の実施		空き店舗解消に向けた取り組みの推進		
	<ul style="list-style-type: none"> ●香南市： 空き店舗実態調査の実施 空き店舗のリスト化 ●香南市商工会： 県・市との連携及び情報共有 ●県（商工労働部、地域本部等）： 支援制度についての情報提供等 		<ul style="list-style-type: none"> ●香南市： 情報発信による周知 （空き店舗情報、事業承継支援等） 補助金による改修の促進 空き店舗を活用した事務系企業誘致の促進 ●香南市商工会： 県・市との連携及び情報共有 空き店舗を活用した創業、事業承継に対する支援 空き店舗情報等の積極的な情報発信 ●県（商工労働部、地域本部等）： 支援制度についての情報提供、伴走支援等 		
◆運営体制の 確立	中心市街地活性化計画の策定		中心市街地活性化計画の推進		
	<ul style="list-style-type: none"> ●香南市： 中心市街地の中長期的な戦略の策定 ●香南市商工会： 計画策定への参画、意見反映等 ●県（商工労働部、地域本部等）： 計画策定に対する支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●香南市、香南市商工会： 地域事業者と連携したアクションプランの推進 ●香南市、県（商工労働部、地域本部等）： 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 ●県（商工労働部、地域本部等）： 関係機関との橋渡し、情報提供、伴走支援等 		

AP名 (実施地域)	No.14 香美市における特産品づくりと販売の促進 (香美市)
実施主体	◎(一社)香美市観光協会、香美市内の事業者、香美市
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	地域資源を生かした加工品や地域産品、伝統工芸品などの香美市ブランド商品の開発及び磨き上げにより、香美市観光協会において行っているインターネット販売や香美市ふるさと納税返礼品としての取り扱いを増加させることにより、香美市のPRと共に事業者の所得向上、地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 特産品の売上高	6,380万円 (※)	6,164万円	5,049万円		7,600万円
(2) 取扱商品数	194品目	214品目	246品目		200品目

※取り扱い開始からH30年度までの平均値

これまでの主な動き	
<p>〈これまでの取り組みの内容〉</p> <p>◆特産品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 産振補助金(ステップアップ)、農業創造セミナー等を活用した新商品開発(H24～R2、R4 食品加工グループ) <p>◆販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地場産品販路拡大推進事業(れんけいこうち) 県外見本市への出展募集(H30～) 首都圏アンテナショップ出店に伴う商品募集(H30～) コロナウイルス経済対策「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」のイベント出店(R3) 圏域事業者販売等支援事業(れんけいこうち) JA複合商業施設「とさのさと AGRI COLLETTO」への出品商品募集(H30～) 日曜市出店(R2～) 金高堂書店前出店(R2～) 集マルシェ出店(R2～) <p>◆経営安定化・後継者育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 増産体制の確立 経営安定化による所得向上 HACCP研修への参加 R2:8事業者 	<p>〈主な成果〉</p> <p>◆特産品の売上額</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税返礼品買取額：6,320万円(H26～30平均)→R元：7,569万円→R2：6,091万円→R3:4,967万円 「香美市のばざー」販売額：60.1万円(H24～30平均)→R元：32.5万円→R2：73.5万円→R3：82.0万円 <p>◆取扱特産品数</p> <ul style="list-style-type: none"> 香美市ふるさと納税 H26：6件 → H30：178件 →R元：222件→R2：214件→R3：246件 香美市のばざー H24：22件 → H30：16件 →R元：20件→R2：25件→R3：21件 <p>◆特産品の販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部イベントへの参加による認知度向上 まるごと高知出品開始(R3～) ネットヨタ高知でのイベント景品として採用(R2) 地元産品で製造したお酒の開発(R2) ANA搭乗キャンペーン商品として採用(R3～) <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットショッピングの利用者拡大、PR 小規模事業者の経営改善(生産能力向上、後継者育成、事業継承、各種制度への対応、営業力強化)

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆特産品の開発	地域資源を生かした特産品の開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●香美市内の事業者： 地域産材を活用した新たな魅力ある特産品の開発、改良 ●県（地域本部等）： 新商品開発のための6次産業化セミナーの受講や産業振興アドバイザー及び食品ビジネスまるごと応援事業等各種補助事業の活用提案 香美市ものづくり会議（事務局：香美市）に委員として出席し、物部川ブランドとして売り出せる特産品の発掘、商品化を推進 				
◆販売促進	販路の拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●（一社）香美市観光協会： 各種イベントでの積極的な特産品販売、インターネット販売の紹介及び継続的な販売による売上の向上 ●香美市内の事業者： 商談会や見本市への出展による販路拡大、イベント出展による商品PR及び売り上げ向上、新商品開発 ●県（地域本部等）： 新商品開発や商品磨き上げについて研修紹介や補助金活用支援、商談会やイベント出店支援 ●香美市： ふるさと納税返礼品としての取り扱いにより商品PR及び販売拡大支援 				
◆経営安定化・ 後継者育成	経営改善、製造販売体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●香美市内の事業者： 高知県版 HACCP の認証取得、食品表示の適正表示、事業計画書の作成、規模拡大の検討 ●県（地域本部等）： 各種講習等の紹介及び支援、事例紹介、商工会との連携支援、集落活動センターとの連携支援 衛生管理や食品表示等に関する各種セミナー受講提案 				
	人材育成、事業継承				
<ul style="list-style-type: none"> ●香美市内の事業者： 人材確保、後継者育成、事業継続方針の検討 ●県（地域本部等）： 移住促進・人材確保支援センターや求人ネットなどの活用など各署と連携し支援 					

AP名 (実施地域)	No.15 香美市の伝統産業（土佐打刃物、フラフ）の振興 (香美市)
実施主体	◎高知県土佐刃物連合協同組合、◎フラフ製造業者、香美市商工会、(一社)香美市観光協会、香美市
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	国指定伝統的工芸品である土佐打刃物及び高知県伝統的特産品であるフラフの後継者育成及び販路拡大を図るため、鍛冶屋創生塾による人材育成とともに、観光事業との連携やイベント開催、ネット販売などを強化する。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 創生塾入塾者数	3名 (R元)	3名	6名 (R2~3累計)	6名 (R2~4累計)	9名 (R2~5累計)
(2) 新規就業者数	0名 (R元)	0名	2名 (R2~3累計)	2名 (R2~4累計)	4名 (R2~5累計)

これまでの主な動き

これまでの取り組みの内容	主な成果
<p>◆人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市ものづくり会議における土佐打刃物、フラフ振興に関する協議（R4：2回） ・伝統的工芸品産業支援補助金（国）及び伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業補助金を活用し研修を実施（R元～） ・鍛冶屋創生塾運営委員会の開催（R4：3回） ・鍛冶屋創生塾2期生入塾（R3）、3期生募集（R4） <p>◆伝統的工芸品等の普及及び販売促進、認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税での取り扱い及び香美市観光協会ネットショップでの販売（H24～） ・市役所庁舎をはじめ市内各所へのフラフの掲揚（H29～） ・「フラフのある風景コンテスト」の開催（R3～） ・観光客向け工場見学、フラフ染め体験の受入（R元～） ・産業振興センターにてフラフ常設展示開始（R2～） ・フラフエコバックを制作(R2)、市内量販店で販売（R3～） 	<p>◆地場産業（土佐打刃物、フラフ）後継者数</p> <p>鍛冶屋創生塾第2期生入塾者：3名（R3） 第1期生卒業：3名（R3） (新規就業2名、講師補助1名)</p> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍛冶屋創生塾卒業後の職人育成体制の構築 ・継続した入塾者の確保 ・伝統的工芸品等の認知度向上

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆人材育成	<p>鍛冶屋創生塾における人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鍛冶屋創生塾： <p>SNSによる鍛冶屋創生塾の情報発信等による継続的な入塾者確保、人材育成及び業界への人材供給</p> ●県（地域本部等）： <p>鍛冶屋創生塾の運営補助金活用支援、求人ネットの活用等による入塾者募集支援、関係機関との連携支援</p> 				
	<p>鍛冶屋創生塾卒業生の就業及び研鑽の場の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鍛冶屋創生塾、高知県土佐刃物連合協同組合、香美市、県（地域本部等）： <p>鍛冶屋創生塾での職人としての育成状況を踏まえ、鍛冶屋創生塾運営委員会において、研鑽の場の確保や就業及びさらなる育成体制を検討・構築</p> 				
◆伝統的工芸品等の普及及び販売促進、認知度向上	<p>土佐打刃物・フラフの普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高知県土佐刃物連合協同組合、フラフ製造業者、(一社)香美市観光協会、香美市商工会： <p>視察受け入れや教育機関・観光事業者と連携した体験及び見学による伝統産業の普及</p> ●香美市： <p>香美市ものづくり会議を主催し、伝統的工芸品等の振興及び普及促進について協議・実行（市内各所でのフラフの掲揚等）</p> ●県（地域本部等）： <p>香美市ものづくり会議へ参画し、土佐打刃物・フラフの普及等の諸課題について検討</p> 				
	<p>土佐打刃物・フラフの新たな販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高知県土佐刃物連合協同組合、フラフ製造業者、(一社)香美市観光協会、香美市商工会： <p>販路開拓のため新商品の開発やイベント等への出店、インターネットでの販売、PR・広報の強化</p> ●県（地域本部等）： <p>県内施設及びアンテナショップ等への販売取り次ぎ、商談会の紹介、関係機関への橋渡し</p> 				
<p>【用語】・鍛冶屋創生塾：伝統的工芸品である土佐打刃物職人育成を担う2ヶ年研修施設（令和元年11月開塾：産業振興推進総合支援事業費補助金活用）</p> <p>・フラフ：「旗」を意味するオランダ語・英語が語源と言われ、大漁旗をイメージしてできたもの。男児の健やかな成長を願って、端午の節句に鯉のぼりと並んで立てられる。男児誕生の祝いとして親戚から家紋や名前を入れたフラフを贈るのが慣わしである。</p>					

AP名 (実施地域)	No.16 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化 (香美市)
実施主体	◎えびす街協同組合、香美市商工会、香美市
APへの位置づけ	H26.9月
事業概要	香美市の中心商店街である土佐山田えびす商店街の情報交流拠点施設「ふらっと中町」の情報発信力を強化し、商店街内の空き店舗の活用等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、商店街を含む地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
空き店舗を活用した新規開業数	3件 (H30)	4件	6件 (R2～3累計)		16件 (R2～5累計)

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆商店街を含む地域の活性化策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふらっと中町及び商店街等との連携強化 チャレンジショップ運営委員会の開催 (H28～) ・ふらっと中町の集客に向けた各種イベントの開催 ・空き店舗及びチャレンジショップを活用した開業支援 ・チャレンジショップの機能充実 ・地域づくり支援員による商店街内の空き店舗の実態調査の実施 (H27～) ・香美市中心商店街活性化協議会の開催 (R4 : 1回) <p><主な成果></p> <p>◆商店街を含む地域の活性化策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふらっと中町における年間集客者数 R元:3,649人→R2:3,737人→R3:4,650人 ・ふらっと中町の運営における雇用の創出 (H27～ : 1名) ・チャレンジショップに関する問い合わせの増加 ・ふらっと中町におけるマルシェの開催 	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の空き店舗の活用の促進 ・空き店舗活用のための改修 (耐震化、水回り等) 費用負担 ・ふらっと中町、チャレンジショップの集客数の増

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆商店街を含む地域の活性化策の推進	空き店舗調査の実施				
	<ul style="list-style-type: none"> ●香美市： <ul style="list-style-type: none"> 地域づくり支援員による空き店舗調査の実施 開業希望やチャレンジショップ活用に関する問い合わせへの対応 ●香美市商工会： <ul style="list-style-type: none"> 空き店舗の情報収集 				
	「ふらっと中町チャレンジショップ」の運営				
<ul style="list-style-type: none"> ●えびす街協同組合： <ul style="list-style-type: none"> チャレンジショップを活用したチャレンジャーの開業支援 集客力のあるイベント開催によるPR SNSによる情報発信 ●香美市商工会： <ul style="list-style-type: none"> チャレンジショップへの運営補助による支援 運営に関するアドバイス ●香美市、県（商工労働部、地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> チャレンジショップ運営委員会への出席 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 					
空き店舗を活用した新規開業支援					
<ul style="list-style-type: none"> ●香美市： <ul style="list-style-type: none"> 地域づくり支援員による空き店舗活用策の提案 耐震化及び水回り等の改修費用に係る負担軽減策の検討 ●香美市商工会： <ul style="list-style-type: none"> 開業時のアドバイスの実施 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式に対応するため、キャッシュレス化やデジタル化への支援 各店舗の情報発信の向上支援（Wi-Fi環境整備への支援） 集客力のあるイベント実施 </div>					

AP 名 (実施地域)	No.17 香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売 (香美市)
実施主体	◎(同)高知カンパニーブルワリー、香美市商工会、香美市
AP への 位置づけ	H30.9月
事業概要	高知県産の食材を活用したクラフトビールを開発し、生産規模の拡大及び安定的な稼働体制を確立するとともに、商工会や観光協会等と連携し、地元商店街のにぎわい創出を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
クラフトビールの売上高	1,805 万円 (H30)	3,210 万円	4,032 万円		4,100 万円

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆生産体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発に係る情報発信、製造機器の設置等 ⇒H30 産業振興推進総合支援事業費補助金（ステップアップ事業）の活用（事業費 44.8 万円） ・小規模事業者持続化補助金を活用した生産量拡大及び品質管理に係る設備導入（R 元） ・事業再構築補助金によるブランド体験型施設と本格ビール工場の新設（R3～4） ・クラウドファンディングを活用した施設整備（R4） <p>◆積極的な地産外商の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップ「まるごと高知」での販売、レストラン「土佐のおきゃく」での提供（H30～） ・香美市ふるさと納税・返礼品に登録（H30～） ・「モンベル アウトドアヴィレッジ本山ビジターセンター」「スノーピークかわの駅おち」等での販売開始（R 元） ・ロコノ星（全国 10 地域テレビ局連携事業）にてインターネット販売開始（R2） ・伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、PR 動画作成（R2） ・フェアやイベントへの出店（5 回） <p>◆地元商店街のにぎわい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市内飲食店等での提供：4 店舗 ・香美市内量販店での販売：4 店舗 ・地元イベントへの参加（1 回） 	<p><主な成果></p> <p>◆生産体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的、安定的な増産体制の確立に向けた計画の策定 ⇒ 雇用の創出 2 名（R4） <p>◆積極的な地産外商の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産素材を使った季節限定品の開発・販売 ⇒ ミルクマンゴーハイジール、黒糖スタウト（R3）、土佐ベルガモットビール（R4） ・地域の農産物を使った地域限定品や OEM 商品の販売 ⇒ 日高トマト、四万十ぶしゅかん、なかとさ莓ビール（R2）、四万十地栗エール（R3） ・TOSA REIHOKU BEER としてこめホワイエールと赤しそサワーエールの 2 つをブランド化。嶺北地方全域の飲食店小売店等で販売・提供開始（R2） ・にっぽんの宝物グランプリ（高知大会） スイーツ・ドリンク部門 準グランプリ受賞：榎の森を味わう（クラフトビールとペアリングフード）（R2） ・ジャパングレートビアアワーズ ハーブ及びスパイス ビール部門 金賞受賞：榎の森ハイジール（R2） ・四国アライアンスビジネスプランコンテスト 最優秀受賞（R3） <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備投資計画の策定 ・製品管理システムの導入及び県版 HACCP 認証取得 ・商品力の向上及びブランドの確立

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆生産体制の構築	<p>設備投資、増産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(同)高知カンパニーブルワリー：移転場所、設備投資の検討・着手 ●香美市商工会：移転場所、設備投資に係る助言 ●県（地域本部等）：活用可能な支援策に係る情報提供 				
	<p>雇用の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(同)高知カンパニーブルワリー：専門機関（高知県移住促進・人材確保センター、ハローワーク等）と連携した労働力の確保 ●県（高知県移住促進・人材確保センター、地域本部等）：活用可能な支援策の情報提供 				
◆積極的な地産外商の推進	<p>戦略的なPR、フェアやイベントへの積極的な出店、ブランドの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(同)高知カンパニーブルワリー：商品コンセプトに合致したイベント等への積極的な出店 販路開拓に向けた営業及び戦略的な情報発信 ●香美市商工会：販路開拓に向けた仕組みづくり等の支援 ●香美市：ふるさと納税返礼品への認定等、地産外商の取り組みを支援 				
	<p>新たな商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(同)高知カンパニーブルワリー：季節感や地域特性の食材を活用した商品の開発、話題創出 ●県（地域本部）：アンテナショップ「まるごと高知」を活用したテストマーケティング等の支援 				
	<p>県版 HACCP の認証取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(同)高知カンパニーブルワリー：第2ステージ、第3ステージの認証取得 				
◆地元商店街のにぎわい創出	<p>地元イベントへの出店、商店街との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(同)高知カンパニーブルワリー：地元イベント（「香美バル」「刃物まつり」等）への出店 ●香美市商工会：イベント等の情報提供 				
	<p>地元食材を活用したご当地グルメの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(同)高知カンパニーブルワリー：地元食材生産者、飲食店とのコラボを検討 				

AP 名 (実施地域)	No.18 物部川地域における広域観光の推進 (物部川地域全域)
実施主体	◎(一社)物部川 DMO 協議会、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会、(株)ものべみらい、観光事業者
AP への位置づけ	H24.4 月
事業概要	物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
主要観光施設入込数 (9 施設) ※	70.7 万人 (H30)	46.1 万人	58.6 万人		89.8 万人

※ 4～3 月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高知県における観光による地域活性化に関する連携協定」締結(県、(株)四国銀行、(株)地域経済活性化支援機構) ⇒「高知県観光活性化ファンド」設立 (H27) ・物部川地域を DMO 構築のパイロット地域に選定 ・「物部川地域観光基本計画」の策定 (H28.3 月) (県、(株)四国銀行、REVIC、南国市、香南市、香美市) ・「物部川 DMO 協議会」が発足 (H28) ・協定に基づきファンド資金と REVIC 人材により DMO 構築の司令塔役として(株)ものべみらい設立 (H28) ・物部川 DMO 協議会が事務局職員を採用・配置し、各事業の運営開始 (H29) ・物部川 DMO 協議会の一般社団法人化 (H31.3 月) ⇒第 3 種旅行業登録 (R 元) ・日本版 DMO 候補法人登録 (R 元) ・登録 DMO 登録 (R4.3 月) ・滞在型観光プラン整備計画の策定 (R2) ・観光地域づくり推進員の採用 (R3) <p>◆観光商品の充実・観光客の広域誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア内観光素材の調査、体験プログラム素材の掘り起こし ・協議会公式 HP 及び SNS の構築 (H28) ・ミキハウスウェルカムファミリー観光地エリアの認定 (H29) ・ビッグデータ活用による観光動態調査の実施 (H29～30) ・お客様ニーズに沿った商品企画造成・販売実施(H30～) ・ファミリー層向け広域観光パンフレット「とりせつ」作成(H29～) ・商談会等で旅行会社へセールス(H29:4 回、H30:17 回) 	<p>R 元 : 10 回、R2 : 21 回、R3 : 9 回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客多角化事業 (観光庁) の採択によるバリアフリー観光の推進 (R2) ・地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業 (観光庁) の採択によるバリアフリー観光の推進 (R4) <p>◆地域連携による周遊促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携企画イベントの開催 (H28:「おさかなクリスマス in 高知ものべがわ」、H29～ (年 1 回)「ものべがわフェスタ」) ・ものべ SSS 認証制度の制定 (R2～) <p>R2 : 14 団体、R3 : 13 団体 計 : 27 団体</p> <p>◆物部川地域の観光に携わる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア内事業者向け研修・モニターツアーの実施 (H30～) ・高知大地域協働学部との協働により旅行商品の造成及び販売の実施 (R2.1 月) <p><主な成果></p> <p>◆DMO 協議会の一般社団法人化等によるガバナンスの強化 ⇒広域観光組織の位置づけ(地域のセールス役)の明確化 3 市の官民による「観光地域づくり」の連携体制の構築</p> <p>◆ものべがわフェスタ来場者数 H28 : 3,000 人→R 元 : 6,000 人 (R2、3 : 開催なし) R4 : 1,039 人 (雨天開催)</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・物部川地域 3 市の行政機関、関係機関が役割分担し協働することによる持続的広域観光推進のための地域体制強化 ・周遊促進のための旅行商品の造成・販売 (旅行業の活用) ・物部川エリアのブランド化

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化	(一社)物部川 DMO 協議会の組織体制の強化				
	物部川広域観光振興中期計画の更新及び誘客戦略の立案・実施				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会、(株)ものべみらい：観光地域づくり法人 (DMO) 登録に向けた取り組みの推進、登録 DMO への登録、マーケティング機能強化 		<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会、(株)ものべみらい：マーケティング調査の分析に基づく広域観光振興中期計画の更新及び誘客戦略の立案・実施 		
地域内での連携体制の整備・運用					
<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会、南国市、香南市、香美市、3市観光協会：圏域内で協力して観光地域づくりを行うため、市もしくは観光協会を窓口とした連携体制の整備及び運用 					
◆観光商品の充実・観光客の広域誘致	各市における観光商品の充実				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：物部川地域を対象とした新たな観光資源 (体験メニュー等) の発掘・磨き上げ 3市観光協会が行う観光商品づくり等への支援 ●3市観光協会：関係団体や事業者等との連携による新たな観光資源 (体験メニュー等) の発掘・磨き上げ 土佐の観光創生塾等を通じた商品づくり 				
	圏域における旅行商品の企画造成・ユニバーサルツーリズムの推進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：圏域内での周遊ツアー・地域イベントを組み込んだツアー商品・教育旅行プラン等旅行業を活用した旅行商品の企画造成 誘客多角化事業、エリア内調査、人材の育成、エリア内施設のバリアフリー化等によるユニバーサルツーリズムの推進 				
	戦略的なセールス・PR・インバウンド対策の実施				
<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：ターゲット層及びエリアに即した国内外の旅行エージェント等に対するセールスの実施、商談会への出席、マーケティング調査の分析、戦略の策定・共有、広域観光パンフレット・HP・SNS 等を活用したターゲット層への訴求力のあるエリア情報発信、各種広報媒体の多言語化、国外の旅行者・メディア等を対象とした視察旅行の実施 ●県 (地域観光課、地域本部等)：外国人対応研修等に関する情報提供 					
◆地域連携による周遊促進	連携企画等の実施				
<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：圏域一体での観光地域づくりの意識醸成と圏域内への周遊促進を図るため、地域内の関係者連携による3市連携イベント (ものべがわフェスタ) 等を企画・実施 					
◆物部川地域の観光に携わる人材の育成	物部川地域の観光関係者の人材育成				
<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：広域観光推進のための知見の拡大・共有を目的とし、先進地視察や圏域内の観光情報の共有のためのエリア内研修の実施 ●県 (地域観光課、地域本部等)：県等が実施する研修の情報提供 					

【用語】・観光地域づくり法人 (DMO)：地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。観光庁が登録を所管。令和2年4月から登録基準の厳格化に伴い、名称を「日本版 DMO」から「登録 DMO」に、「候補法人」から「候補 DMO」に変更。

AP名 (実施地域)	No.19 南国市の地域資源を活用した観光の推進 (南国市) ※地域産業クラスタープロジェクト関連 (南国市農業クラスタープロジェクト)
実施主体	◎(一社)南国市観光協会、南国市、南国市観光クラスター連絡協議会、市内各観光に関わる企業・団体・グループ
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	地域が誇る史跡資源(長宗我部等)を活用したイベント・ツアーへの参加をきっかけとして、周辺の観光名所・施設への来訪など市内観光を推進するとともに、ものづくりサポートセンターを核とした県外からの誘客促進に繋げる。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
主要観光施設入込数 ※	46.9万人 (H30)	29.2万人	38.8万人		55.0万人 (4施設)

※1～12月 R元以前：3施設計 R2以降：4施設計

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長宗我部元親ラリーの実施 (H22～) ・長宗我部フェスの開催 (H22～) ・岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリの開催 (H22～) ・周辺の観光施設・史跡・店舗等の紹介と経路、交通手段、所要時間等をわかりやすく表示したパネル、ポスター及びパンフレットの作成・配布や、市内中心部を案内できるボランティアガイドの養成 (H28) →H28 歴史観光資源等強化事業費補助金の活用 (事業費 110.2万円) ・移動販売車(キッチンカー)の導入による南国市観光のPR (H29、南国市観光クラスター連携協議会) ・女性をメインターゲットにした周遊マップの作成(H29) →H29 歴史観光資源等強化事業費補助金の活用 (事業費 454.4万円) ・観光施設連絡会の設立 (R2) ・地域の頑張る人づくり補助金を活用したガイド養成 (R3) ・なんこく旅たびクーポンによる誘客促進 (R3) ・土佐の観光創成塾の受講→オンラインによる体験プランの販売開始 (R3～) 	<p>◆観光協会の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市観光協会に専任スタッフを配置 (H24～) <p><主な成果></p> <p>◆主要観光施設入込数のうち、歴史文化施設(県立歴史民俗資料館)入館者数</p> <p>H30：2.5万人→R元：2.9万人 →R2：1.2万人 →R3：1.2万人 ※R2.9.7～R3.4.28まで耐震工事のため休館 →R4：2.7万人(11月末時点)</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源及び長宗我部元親ラリー、長宗我部フェスなどの既存の取り組み(イベント)の魅力向上 ・観光協会の体制強化 <p>※主要観光施設</p> <p>R元まで：西島園芸団地、県立歴史民俗資料館、道の駅南国風良里</p> <p>R2以降：西島園芸団地、県立歴史民俗資料館、道の駅南国風良里、南国市ものづくりサポートセンター (R3.3.21オープン)</p>

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆観光の推進	観光メニューづくり、既存メニューのブラッシュアップ				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)南国市観光協会、南国市、市内各観光に関わる企業・団体・グループ： 既存の観光メニュー、イベントのブラッシュアップや、新たなメニューづくり、周遊ルートを提案・実施 ●県（地域本部等）： 物部川地域全体としての観光を促進するため、必要に応じて関係機関等への橋渡し 				
◆観光協会の体制強化	SNS やメディア等のツールを有効活用した情報発信、プロモーション活動				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)南国市観光協会： 観光パンフレットの発刊、SNS 等での情報提供、旅行雑誌等への売り込みの実施 ●事業者： 移動販売車（キッチンカー）を用いた、観光・特産品の PR ●県（地域本部等）： 広報の協力（広報広聴課 Twitter などへの投稿）等 				
◆観光協会の体制強化	会員増に向けた取り組み、会員への支援				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)南国市観光協会： 会員増に向けた新規会員の掘り起こし SNS・パンフレット等による会員の店舗やイベント等の PR の実施 				
<p>【用語】・SNS：「Social Networking Service」の略。インターネットを通じて個人間の幅広いコミュニケーションを支援するサービスのこと。代表的な SNS としては、Facebook などがある。</p>					

AP名 (実施地域)	No.20 南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進 (南国市)
実施主体	◎(株)西島園芸団地、南国市、(一社)南国市観光協会、(一社)物部川 DMO 協議会、 南国市観光施設連絡会
APへの 位置づけ	R3.4月
事業概要	南国市観光の中核である観光農園を時代の変化、顧客ニーズに対応したリブランディングにより磨き上げ、魅力的な観光施設として広域的な観光客の誘致を推進するとともに、生産された青果の外商の拡大を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 観光客入込数 (1~12月)	106,191人 (R元)	64,789人	95,852人	120,023人	100,000人
(2)年間売上額※	3億2,672万円 (R元)	3億994万円	3億883万円	3億4,372万円	3億6,000万円

※会計年度：8~7月

これまでの主な動き

これまでの取り組みの内容	主な成果
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農事組合法人「西島園芸団地」設立 (S46) ・観光農園事業開始 (S54) ・株式会社化 (H25) <p>◆全体コンセプトの構築とリブランディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー (課題一貫支援型) の活用による短期・中期の事業計画の策定 (R2~R4) ・SWOT分析の実施 (R2) ・ブランディング戦略の検討 (R2~) ・事業構想の策定 (R4) <p>◆新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー (課題一貫支援型) の活用による新商品開発 (R2~R3) ・6次産業化セミナー実践コースの受講による新たなカフェメニューの開発 (R3) ・新たなカフェメニューの開発 (R4) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの改修、イチゴの高設栽培面積の増反、体温計・自動手洗い設備の導入 (R2) ・スイカパンの発売 (R3.7月) ・通販サイトリニューアル (R3.6月) ・イチゴ狩りのWEB予約システムの導入 (R3.12月) ・新たなカフェメニューの提供 (R4.1月~) ・フルーツ券の拡充 (R4.5月~) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年をピークに年々観光客は減少傾向 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による大型バス、個人客の来場減 ・施設の老朽化 ・時代の変化・顧客ニーズにあわせた施設運営 ・自社の農産物を使った加工品の開発 ・人材の確保・育成 ・生産資材価格の高騰

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆体制強化	事業計画策定			計画の実施、見直し	
	<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：SWOT 分析を踏まえた事業計画の策定 ●南国市・県（地域本部等）：計画策定に対する支援 			<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：事業計画の進捗管理、状況に応じた見直し ●南国市・県（地域本部等）：各種支援策の情報提供等 	
	人材の確保・育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：OJT による人材の確保・育成、各種セミナー等への参加 ●南国市・県（地域本部等）：関係機関への橋渡し、各種支援策、セミナー等の情報提供 				
◆全体コンセプトの構成とリブランディング	コンセプト構築・施設改修内容検討			施設改修	
	<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：SWOT 分析、アドバイザーのアドバイスを踏まえたコンセプト構築 ●南国市・県（地域本部等）：助言・情報提供 			<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：コンセプトを踏まえた施設改修 ●南国市・県（地域本部等）：補助事業による支援 	
◆新商品の開発	新商品の開発・販路拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：消費者ニーズを踏まえた新商品の開発、パッケージ改良等既存商品の磨き上げ、各種商談会への参加、自社加工場の県版 HACCP 対応 ●南国市・県（地域本部等）：アドバイザーの活用提案、県等が主催する商談会や各支援策等の情報共有 				
<p>【用語】・リブランディング：時代や顧客にあわせ、既存のブランドの再構築を含めた新たなブランドを構築すること。</p>					

AP名 (実施地域)	No.21 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進 (香南市) ※地域産業クラスタープロジェクト関連(日本一の二産地拡大クラスタープロジェクト)
実施主体	◎(一社)香南市観光協会、香南市、地域の体験メニュー等提供団体
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	香南市の海と山と文化や歴史などの地域観光資源を活用したスポーツ・体験観光を推進するとともに、様々な観光スポット等と連携した周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口の拡大を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 主要観光施設入込数 (10施設)※	106.0万人 (H30)	90.7万人	96.2万人	102.3万人	117.0万人
(2) 参加人数 (スポーツ・体験観光)	181人 (H30)	298人	181人		960人

※ 1～12月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆旅行商品の造成と販売 <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)香南市観光協会による旅行商品化に必要な香南市内の観光情報の一元把握を開始(H21～) ・香南市観光協会の一般社団法人化及び旅行業第3種の登録(H22)：旅行商品の企画から販売までの体制の整備 ⇒土佐塩の道ウォーキング、トレイルランニングレース大会、サンセットシーカヤックツアーなどの企画販売の実施 ◆地域の観光情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・地元団体によるウォーキング、トレイルランニング、マリンスポーツやサイクリングイベントの開催に際しての情報発信(随時) ・香南二塩焼そばなど、地域の特産品を活用したメニューや飲食店等の情報発信(随時) ◆スポーツ・体験観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル事業の強化、サイクルイベント等の実施(H30～) ⇒自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会 四国ブロック会議の実施(R元) ・ヤ・シイパーク西側自転車道の開通(R2) ・物部川右岸河川敷自歩道の整備(R2) ・香南市自転車活用推進推進計画の策定(R2～3) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆主要10施設の観光客入込 <ul style="list-style-type: none"> H30：106万人 → R元：104.5万人 →R2：90.7万人→R3：96.2万人→ R4：102.3万人 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>対象：10施設 県立のいち動物公園、月見山こどもの森、ヤ・シイパーク 絵金蔵、天然色市場、やすらぎ市、あぐりのさと、黒潮温泉 創造広場「アクトランド」、土佐カントリークラブ</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆スポーツ・体験観光の参加人数 <ul style="list-style-type: none"> H30：181人 → R元：188人 →R2：298人 →R3：181人 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行商品の継続的な企画・販売 ・体験メニュー等、地域の観光素材を活用した観光商品の開発 ・エージェントに対する効率的かつ効果的なプロモーション ・地元団体の高齢化等による人材不足 ・with コロナ下での適切な観光商品の開発

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆旅行商品の 造成と販売	旅行商品の造成と販売の実施				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香南市観光協会：コースプラン作成と販売、旅行代理店への売り込み、旅行商品化に必要な観光情報の一元把握 ●香南市：観光に関係する香南市内の状況等についての情報共有 ●県（地域本部等）：支援策の提供 				
◆地域の観光 情報の発信	インターネット、SNS等を活用したPRの展開				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香南市観光協会：ホームページ、SNS、OTA等を活用した情報発信 香南二郎塩焼きそば等の地域の特産品やグルメ情報の発信 ●地域の体験メニュー等提供団体：二郎等の地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供 ●香南市：市ポータルサイト等での情報発信への協力、関係機関等への橋渡し、調整 ●県（地域本部等）：県Twitter等への投稿 				
◆スポーツ・体験 観光の推進	サイクリストの誘致、サイクルツーリズムの推進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香南市観光協会：サイクルイベントのPR、宿泊施設等と連携した旅行商品化 ●香南市：レンタサイクルの実施、各種サイクルイベントの主催及び支援 ●県（地域本部等）：誘致に関する支援策等の提供 				
	サイクリングロードの整備、サイクリストのための環境整備				
<ul style="list-style-type: none"> ●香南市：国と連動した基盤整備、ブルーラインの設置等 サイクルオアシス導入の推進、サイクリングターミナルの活用・再整備の検討 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供 					
<p>【用語】・OTA：インターネット上で取引を行う旅行会社のこと。Online Travel Agentの略。店舗営業を行う旅行会社のオンライン販売はOTAとは呼ばない。国内外の宿泊や航空券などの手配旅行、宿泊と航空券をセットにしたダイナミックパッケージ、施設とお客様が直接契約する宿泊仲介、旅行保険などを取り扱うことが多い。</p>					

AP名 (実施地域)	No.22 三宝山エリアにおける観光拠点化の推進 (香南市)
実施主体	◎民間事業者、香南市
APへの 位置づけ	H28.4月
事業概要	香南市のシンボルである三宝山を核として、近隣の観光施設等と連携しながら、様々な楽しみ方ができる体験観光エリアを作り出すことにより観光客を呼び込み、交流人口の拡大を目指す。

指標	出発点	実績			目標
		R元	R2	R4	R5
-(※)	-	-	-	-	-

※検討状況を踏まえて設定

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者による新たな事業構想の策定（H30） ・事業者、香南市及び県による開発に伴う土地やインフラ整備等についての協議の実施（R元～） ・山頂エリアの林地開発着手（R2.2～） 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業に参画する主要な事業者の確定（H30） <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発に伴う事業計画の策定

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆施設整備	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;">山頂部分を生かした施設の整備</div> <div style="border: 1px solid #4a86e8; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●民間事業者： <ul style="list-style-type: none"> 山頂エリアの開発計画の策定と計画に沿った工事等の実施 周辺地元への周知 行政（市・県）との協議 ●香南市： <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供 ●県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 関係機関との橋渡し、支援制度についての情報提供 </div>				
	◆周辺施設との連携	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;">三宝山を核とした、体験型観光エリアの形成</div> <div style="border: 1px solid #4a86e8; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●民間事業者： <ul style="list-style-type: none"> 周辺施設と連携した取り組みの実施 ●香南市： <ul style="list-style-type: none"> 既存施設間での協力体制の構築についての支援 ●県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 関係機関との橋渡し、支援制度についての情報提供 </div>			

AP 名 (実施地域)	No.23 香美市における滞在型・体験型観光の推進 (香美市) ※地域産業クラスタープロジェクト関連(日本一のこら産地拡大クラスタープロジェクト)
実施主体	◎(一社)香美市観光協会、香美市、(株)香北ふるさとみらい、地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体
AP への位置づけ	H28.4月
事業概要	香美市の地域資源を生かした体験型観光メニューを充実させるとともに、主要な観光施設を核とした周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口増を図り、滞在型・体験型観光を推進する。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
主要観光施設入込数 (4施設) ※	24.5万人 (H30)	16.6万人	17.0万人	23.2万人	30.0万人

※：1～12月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆体験型観光メニューづくりと推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンパンマンミュージアム 香美市立やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム開館25周年記念行事 (R3) ・龍河洞 「西本洞/水の洞窟」オープン、龍河洞冒険王、龍河洞ナイト、90周年イベント (R3) ・べふ峡温泉 大栃中学校キャンプ体験 (R2)、シカニクフェア (R3～) ・宿泊3施設(龍河温泉、湖畔遊、ヌックスキッチン)の新設・改修 (R3観光施設等緊急整備事業費補助金(おもてなし旅館ホテル等環境整備緊急支援事業)の活用) ・香美市観光資源PV制作 (R3香美市観光リカバリー事業の活用) ・巨木・銘木に出会う、香美(神)巡り (R4) ・香美市おしゃれcafe巡りキャンペーン (R4) <p>◆観光協会の組織体制の充実と取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会のHPやfacebook、広報誌を活用した情報発信 ・「香美市に泊まろうキャンペーン」(R3～)「香美市観光プレミアムチケット事業」の実施 (R3) <p>◆香北エリアを中心とした観光活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・kami trip 学芸員とめぐるアンパンマンミュージアムとやなせたかしの聖地巡り (R3) ・天文講演会及び星空展望会、在所隕石里帰り展 (R3) 	<p><主な成果></p> <p>◆体験型観光メニューづくりと推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要3観光施設(アンパンマンミュージアム、龍河洞、べふ峡温泉)の入込客数 R4：226,203人 ・「土佐塩の道トレイルランニングレース」参加者 R2：182人→R3：中止→R4：233人 ・「土佐塩の道30kmうおーく」参加者 R2：延期→R3：97人→R4：113人 ・観光資源の磨き上げ及び発掘事業 「歴史・史跡に関する委員会」「宿泊・交通に関する委員会」の立ち上げ(H30)及び委員会の開催 「歴史・史跡に関する委員会」及び「宿泊・交通に関する委員会」を「香美市は、まことえいくじゃき委員会」に統合(R4)及び委員会の開催 <p>◆香北エリアを中心とした観光活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾートは大手旅行会社の宿泊予約サイトで高評価を得る等し、宿泊客が増加(ホテル利用者数) R2：5,649人→R3：4,236人→R4：6,097人 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験観光メニューの受入体制や窓口機能の強化 ・香美市観光協会とDMO協議会が連携した新規イベントやツアーの定期的な開催、戦略的なPRの実施 ・べふ峡温泉のバンガローエリア跡地の活用策の検討 <p>※主要4観光施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンパンマンミュージアム、龍河洞、べふ峡温泉、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆体験型観光メニューづくりと推進	観光資源の磨き上げ及び発掘、体験型観光メニューの造成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香美市観光協会：「歴史・史跡に関する委員会」「宿泊・交通に関する委員会」で造成した体験型観光メニューの磨き上げ（「ノルディック・ウォーキング体験会」、「巨木銘木、パワースポットめぐり」等） ●地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体：観光協会との連携強化 				
	受入体制や窓口機能の強化				
◆観光協会の組織体制の充実と取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香美市観光協会：ガイドの育成、パンフレットの多言語化 地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体との連携 ●香美市：観光案内所「香美市いんふおめーしょん」の機能強化 ●県（地域本部、観光振興部）：ガイド育成等支援策の情報提供 				
	バンガロー跡地利活用策の検討				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香美市観光協会：誘客に繋がる活用計画の策定 				
◆香北エリアを中心とした観光活性化	観光イベントの企画・実施、セールス活動、情報発信				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香美市観光協会：観光イベントの開催 周辺観光施設と連携したセールス活動の実施 HPや広報誌を活用した情報発信 二上等の地域の特産品やグルメ情報の発信 ●地域の体験メニュー等提供団体：二上等の地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供 ●県（地域本部、観光振興部）：高知県観光キャンペーン等と連動した情報発信 				
◆香北エリアを中心とした観光活性化	周辺施設や地域との連携体制の構築				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)香北ふるさとみらい：香北周辺の観光施設との連携強化 地域資源を活用した体験プログラムの造成、メニュー化 				

AP名 (実施地域)	No.24 龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進 (香美市)
実施主体	◎(公財)龍河洞保存会、◎(株)龍河洞みらい、龍河洞エリア活性化協議会、香美市
APへの位置づけ	H29.9月
事業概要	H29.11月に龍河洞エリア活性化協議会が策定した「龍河洞エリア活性化基本計画」に基づき、関係機関が連携し、エリア全体の誘客促進に向けた取り組みを推進していく。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
観光客入込客数※	12.6万人 (R元)	7.6万人	7.7万人	11.3万人	15.0万人

※1～12月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆「龍河洞エリア活性化協議会」の設立</p> <ul style="list-style-type: none"> 龍河洞エリア活性化協議会の開催 R2:4回 <p>◆基本計画の推進及び施設等の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光拠点等整備事業費補助金の活用による施設整備(H30～R2) 龍河洞洞内コンテンツ(洞内演出照明、音響、プロジェクションマッピング)の整備 龍河洞エリア動線・景観等整備計画の策定(H30) 龍河洞駐車場等整備の設計(R元) 駐車場等整備工事、更衣室改修工事等の実施(R2) 「新・龍河洞」グランドオープン(R元.7月) 「西本洞/水の洞窟」オープン(R3.4月) 観光施設等緊急整備事業補助金の活用による施設整備(R2～4) デジタルルーム等の設計、老朽化施設解体工事・雨よけ施設工事等の実施(R3) 龍河洞情報館の整備(R4) <p>◆広報、PR</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅行会社、ホテルへのセールス活動の実施 教育旅行説明会への参加、教育旅行用パンフレットの作成及び配布 新聞、テレビ、雑誌、地元情報誌を活用した情報発信 	<p>◆集客イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> シーズンイベントの開催(R4:4回) 既存イベント(龍河洞ナイト、ハロウィンイベント等)の磨き上げ <p><主な成果></p> <p>◆観光客入込数</p> <p>R4:11.3万人</p> <ul style="list-style-type: none"> うち冒険コース体験者数 R2:1,629人→R3:1,781人→R4:2,419人 うち西本洞コース体験者数 (開洞期間:4/29～10/31) R3:144人→R4:152人 <p>◆集客イベントの開催を通じた入込数の確保 夜間営業の入洞者数(内数) R2:2,650人→R3:1,316人→R4:1,040人</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 龍河洞エリア活性化基本計画、龍河洞エリア動線・景観等整備計画に基づく施設整備の実施 さらなる入洞者数の増に向けた集客イベント、セールス、広報・PRの実施・強化 文化財(史跡・天然記念物)としての龍河洞の保全・活用

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆基本計画の推進及び施設等の改修	龍河洞エリア活性化基本計画、龍河洞エリア動線・景観等整備計画の精査及び具体化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●龍河洞エリア活性化協議会：各施設の機能や整備の優先順位、費用対効果について協議 ●(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：実施主体、運営体制について精査及び実現可能性の検討 ●香美市、県（観光振興部、地域本部等）：予算化に向けた課題整理、計画の進捗管理 				
	駐車場動線整理 通路安全対策	エリア内の他の施設の改修			
	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会：改修の実施 ●香美市、県（地域本部等）：補助金申請等への支援及び進捗管理 	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会：予算化をもとにした改修の実施 ●龍河洞エリア活性化協議会：各施設の機能や改修の必要性、優先順位について協議 ●香美市、県（地域本部等）：補助金の予算化及び各種活用可能な支援制度に係る情報提供 			
	老朽化した施設の除却 除却後の活用計画の策定	除却後のスペースの有効活用			
<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：除却後の活用計画及び事業主体の検討 香美市予算化後の除却の実施 ●香美市：除却費等を予算化 ●県（地域本部等）：除却に向けた支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：予算化をもとにした施設整備及び運営 ●香美市、県(地域本部等)：補助金の予算化の検討 各種活用可能な支援制度に係る情報提供 				
更衣室の改修	西本洞コースの開設・運営				
<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会：改修の実施 ●香美市、県（地域本部等）：補助金申請等への支援及び進捗管理 	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会：西本洞コースの運営（ガイドの人材育成等） ●(株)龍河洞みらい：西本洞コースを素材とした広報・セールスの実施 				
◆広報、PR	インバウンドを見据えたセールス、ターゲティングとポジショニング分析を踏まえたPRの実施				
<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：台湾を中心とする東アジアへのセールスの強化 ●(株)龍河洞みらい：新聞やテレビ、雑誌、地元情報誌等への情報発信、県内や中四国、近畿圏を中心としたPRの実施 					
◆集客イベントの開催	シーズンイベント（夏休み、ハロウィン、クリスマス等）、夜間営業の実施				
<ul style="list-style-type: none"> ●(株)龍河洞みらい：イベントの企画・運営、集客に向けた広報・セールスの強化 					